SHIN.EI

施工データ管理ソフト
ソーラー・データ・マネージャー

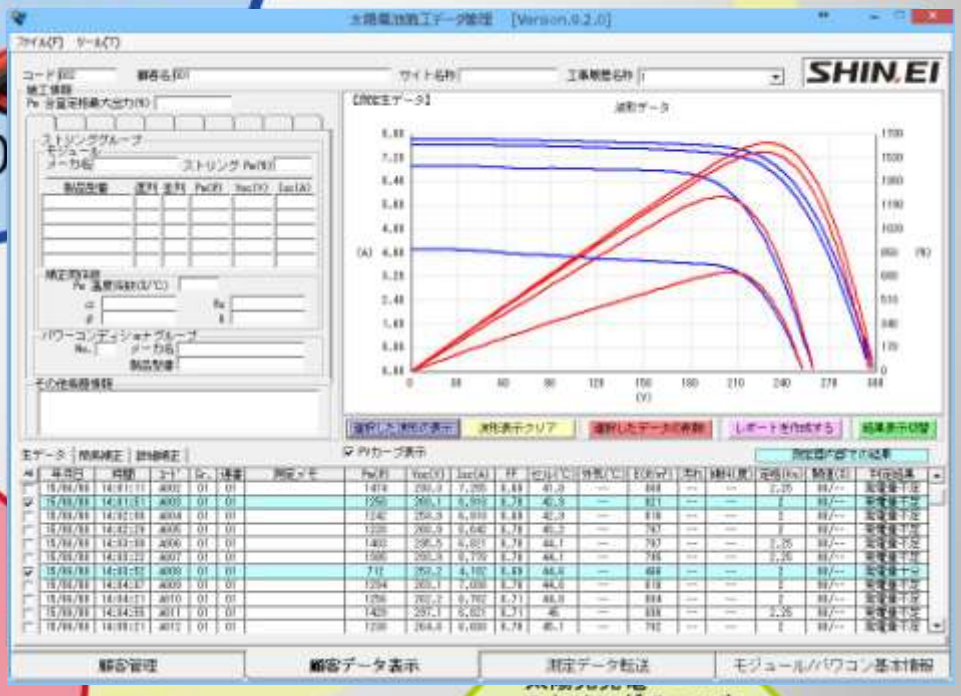
SDM-3600

Ver 06

取扱い説明書

太陽光発電
I-Vカーブトレーサ

IVH-2000



太陽光発電
アレイテスタ

SIV-600/1000

ストリングチェッカ

IVH-1000Z

Software Version 9.0.0 以降対応

新栄電子計測器株式会社

http://www.shin-ei.ne.jp

目　　次

このソフトウェアを正しくご使用になるための使用手順 3
１．概要 4
２、接続Ｉ－Ｖ測定器 4
３．管理内容 4
４．データ管理件数 4
５．ソフトウェアの構造 5
６．動作環境 6
７．基本使用方法 6
　７－１．ソフトウェアを起動します。 6
　７－２．顧客情報の設定［顧客管理］ 7
８．顧客情報の設定［顧客管理］ 11
　８-１．顧客情報設定 11
　　８-１-１．顧客情報入力 11
　８-２．施工情報 12
　８-３．新規顧客情報を設定する場合 13
　８-４．顧客一覧 14
９．工事情報設定 15
　９-１．工事履歴名選択 15
　９-２．画像登録変更 16
　９-３．施工業者情報設定 16
１０．ＳＩＶ－６００ＺなどＩ－Ｖ測定器からの測定データ転送 17
　１０-１．接続 17
　　１０-１-１．ＳＩＶシリーズの場合 17
　　１０-１-２．ＩＶＨシリーズの場合 18
　１０-２．転送操作 19
１１．測定データ表示 20
　１１-１．一覧表示 20
１２．顧客データ表示 21
　１２-１．施工情報と補正データの関連性 21
　１２-２．一覧表示 24
１３．レポート作成 25
　１３-１．レポート画面 25
１４．表示言語の選択 30
１５．顧客情報・計測データ保存フォルダの設定 30
１６．データのコピー 31
１７．モジュール基本情報 32
　１７-１．メーカ名一覧 32
　１７-２．型番一覧 33
　１７-３．製品写真 33
　１７-４．モジュールデータ 34
　１７-５．補正係数 34
　１７-６．データのインポート 35
１８．パワコン基本情報 36
　１８-１．メーカ名一覧 36
　１８-２．型番一覧 37
　１８-３．製品写真 37
　１８-４．パワコンデータ 38
　１８-５．メモ 38
　１８-６．データのインポート 39
１９．ソフトウェアのセットアップ 40
　１９-１．セットアップ方法 40
　１９-２．データ転送が正しく行われないとき 47
２０．このソフトウェアについて 48
　２０-１．ディレクトリ構造について 48

このソフトウェアを正しくご使用になるための使用手順

１．　ソフトウェアのセットアップ

パソコンとＩ―Ｖ測定器（ＩＶＨ－２０００Ｚなど）をＵＳＢ接続する前にパソコンに付属のソフトウェアの入ったＣＤを入れソフトウェア「ＳＤＭ－３６００施工管理ソフト」のセットアップを行います。
「１９．ソフトウェアのセットアップ」をご参照ください。

＊ソフトウェアのセットアップをしないで、パソコンとＩ－Ｖ測定器をＵＳＢ接続するとＩＶ測定器内の測定データ転送が正しく行われ無い場合があります。「１９－２．データ転送が正しく行われないときは」をご参照になり、ソフトウェアの再セットアップを行ってください。

２．ＵＳＢ接続

パソコンとＩ―Ｖ測定器（ＩＶＨ－２０００Ｚなど）を接続します。

３．太陽電池の仕様データ転送

各社太陽電池の仕様データが、付属のＣＤに収納されています。
「１７－６．データのインポート」の手順で、ＣＤに収納されている「ＭＯＤＵＬＥ＿ＤＡＴＡ」を選択し管理ソフトの各社の太陽電池の仕様データを転送します。

＊このデータ転送を行わないと、補正が正しく行われません。
測定データのＳＴＣ（標準状態）換算を行うとき転送したデータを使用します。

４．パワーコンディショナーの仕様データ転送

各社パワーコンディショナーの仕様データが、付属のＣＤに収納されています。
「１７－６．データのインポート」の手順で、ＣＤに収納されている「ＣＯＮＤＩＴＩＯＮＥＲ＿ＤＡＴＡ」を選択し管理ソフトの各社の太陽電池の仕様データを転送します。

＊このデータ転送を行わないと、施工記録として使用したパワーコンディショナーを記録できません。

５．ＩＶ測定器（ＩＶＨ－２０００Ｚなど）からのデータ転送

「７－２・基本使用方法」をご参照ください。

１．概要

本ソフトウェアは、Ｉ－Ｖ測定器で取得した、測定データの管理します。

２、接続Ｉ－Ｖ測定器

ＳＩＶ－６００Ｚ　太陽光発電アレイテスタ（Ｉ－Ｖカーブトレーサ）
ＳＩＶ－１０００Ｚ　太陽光発電アレイテスタ（Ｉ－Ｖカーブトレーサ）
ＩＶＨ－１０００Ｚ　太陽電池ストリングチェッカ（Ｉ－Ｖカーブトレーサ）
ＩＶＨ－２０００Ｚ　太陽電池ストリングチェッカ（Ｉ－Ｖカーブトレーサ）

３．管理内容

○顧客情報
１）顧客情報　…名前・サイト名称・住所・電話番号・メールアドレス
２）工事情報　…測定日・工事履歴名称・アレイ発電量・写真
３）施工業者情報　…名称・電話番号・担当者
４）施工情報　…モジュール・パワコン登録・モジュール枚数・温度係数
５）施工資料　…フォルダ読み出し

○測定データ表示
１）Ｉ－Ｖ特性　…ストリング特性・アレイ特性
２）Ｐ－Ｖ特性　…ストリング特性・アレイ特性
３）重ね書き　…ストリング特性

○機能
１）測定情報入力
２）データ補正　簡易・詳細

４．データ管理件数

・顧客情報：　１０２４件
・施工情報：　１件／顧客
・工事履歴：　９９件／顧客
・画像登録：　４件／顧客
・施工業者：　５件／顧客

測定データ表示画面　８００件／顧客

測定データ転送画面　１２００件

モジュール/パワコン基本情報画面
・モジュールの登録　２５５件（メーカ名・型番）
・パワーコンディショナの登録　２５５件（メーカ名・型番）

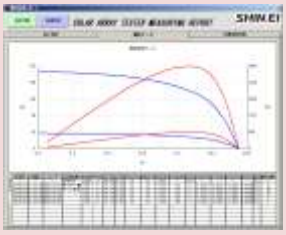
5．ソフトウェアの構造

1．顧客データ

顧客登録・工事情報・施工業者情報を登録します。

顧客管理 | 顧客データ表示 | 測定データ転送 | モジュール/パワコン基本情報

3．測定データ表示（Ｉ－Ｖ特性）



2．測定データのプリント出力

2．Ｉ－Ｖ測定器から測定データを転送

ＩＶＨ－２０００Ｚ

ＳＩＶ－６００

ＩＶＨ－１０００Ｚ

3．使用製品の仕様を登録

モジュール仕様

パワコンディショナー仕様

６．動作環境

OS	Microsoft® Windows Vista/7/8 32Bit・7/8 64bit
CPU	Celeron 3.0GHz 以上を推奨
メモリ	512MB(1024MB 以上を推奨)
解像度	1024x768 ピクセル以上(指定解像度以下の場合、全てが表示されません。)
HDD	10MB
	※管理プログラムのみの容量で計測データ・工事画像は別途必要になります。
ポート	USB2.0/3.0 の空きポートが１つ以上

※注意：USB3.0 のポートでは動作しない場合があります。

USB3.0 のポートは以下マークが記されています。

また、下図の様に端子が５本と４本で２段になっていることが特徴です。

端子５本と端子４本２段になっています。
青色が基準ですが、メーカによって青色以外の場合もあります。

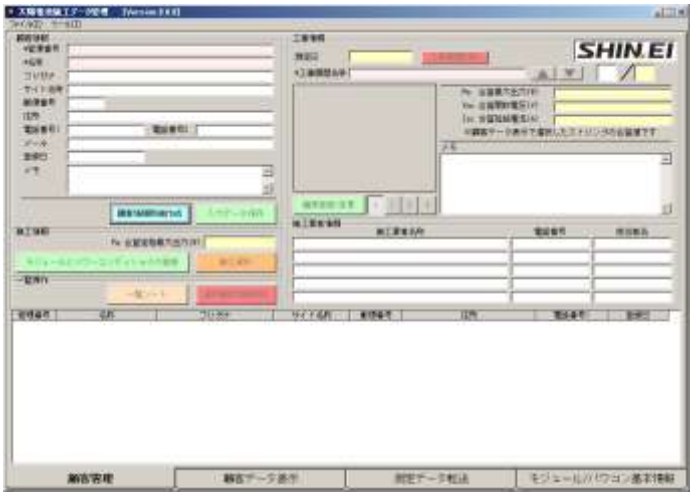
USB2.0 は下図の様に端子が４本で１段になっています。

端子が４本で１段になっています。

７．基本使用方法

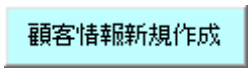
７－１．ソフトウェアを起動します。

ソフトウエアを起動してください。起動すると次の画面が表示されます。



７－２．顧客情報の設定［顧客管理］

１）本ソフトウエアは顧客情報を中心にデータを管理する構造となっていますのでまず顧客情報を作成します。画面の「顧客情報新規作成」をクリックしてください。

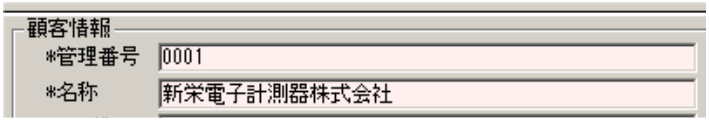


２）顧客管理タブ内「顧客情報」→「管理情報」に番号を付けます。

※フォルダ名に使用されるので「_ / ： ； , * ? ″ < > | ? 」が使えません

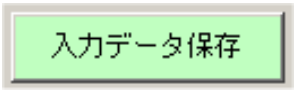
３）顧客管理タブ内「顧客情報」→「名称」に名前を付けます。

※フォルダ名に使用されるので「_ / ： ； , * ? ″ < > | ? 」が使えません



４）顧客管理タブ内「工事情報」→「工事履歴名称」に名前を付けます。

５）入力データ保存ボタンをクリックします。



“Save OK” と表示され、保存が完了します。

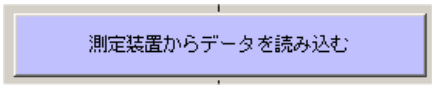
※必ず管理番号、名称、工事履歴名称の３つは登録してください。

７－３．データ転送

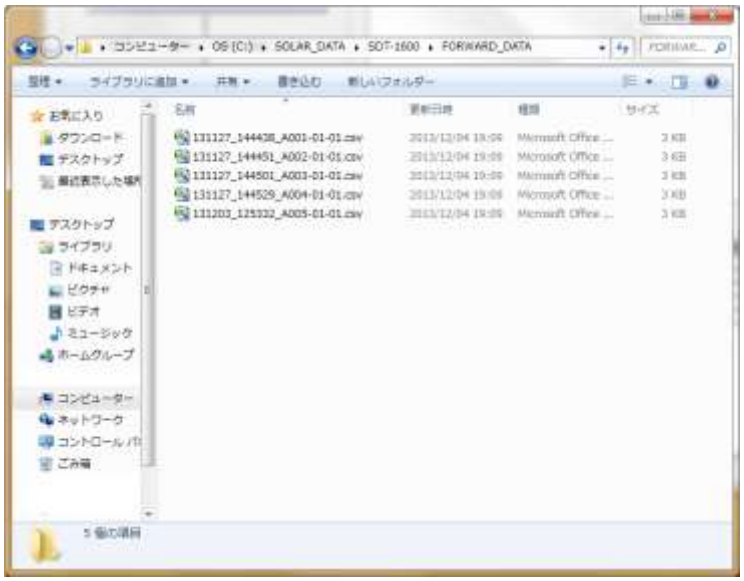
測定データ転送のタブをクリックすると次の画面を表示します。

手順が書かれています。

測定データ転送タブ内「測定装置からデータを読み込む」をクリックすると画面上とＰＣのハードディスクにデータが転送されます。



データは C:¥SOLAR_DATA¥SDM_SOFTWARE¥FORWARD_DATA へ次のように保存されます。



←131127_144438_A001-01-01
①　②　③　④ ⑤

① 測定日です。
② 測定時間です。
③ A001 は Aｱﾄﾞﾚｽの１番目ﾃﾞｰﾀです。
④ ｽﾄﾘﾝｸﾞ番号です（12 章参照）。
⑤ ｽﾄﾘﾝｸﾞ回数番号です（12 章参照）。

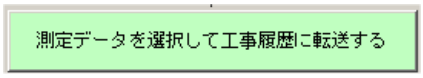
測定データ転送タブ内で転送するデータをチェックボックスで選択します。

データを選択
します
チェックマークが
つきます。

測定データ転送を選択します。

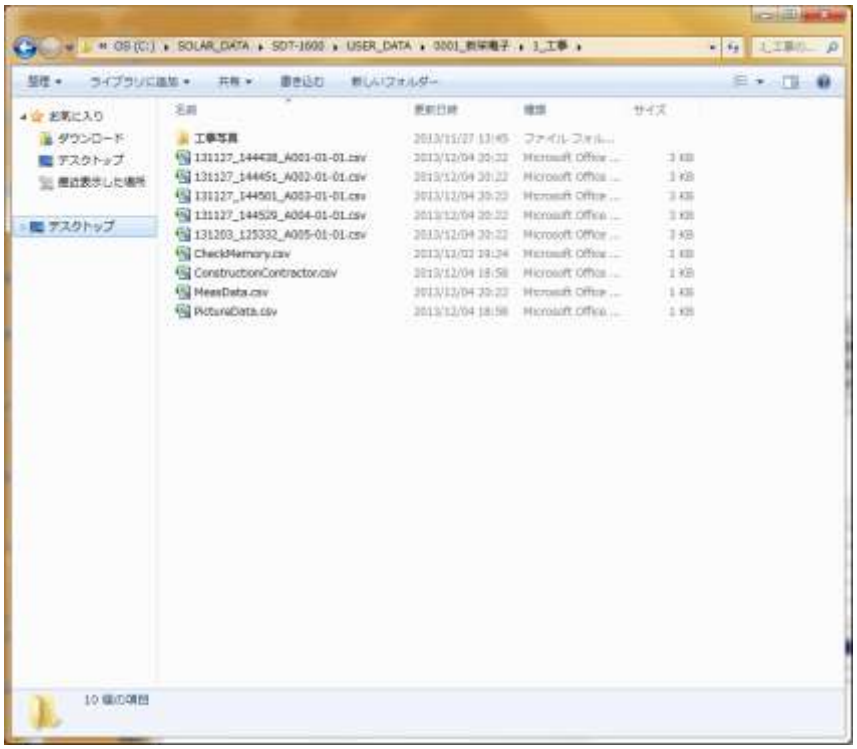
All	年月日	時間	ｺｰﾄﾞ	Gr.	連番
☑	15/06/15	13:27:04	A001	01	01
☑	15/06/15	13:27:40	A002	01	01
☑	15/06/15	13:27:52	A003	01	01
☐	15/06/15	13:28:05	A004	01	01

測定データ転送タブ内「測定データを選択して工事履歴に転送する」をクリックすると一旦保存したデータは USER DATA フォルダへ移動します。



C:¥SOLAR_DATA¥SDM_SOFTWARE¥FORWARD_DATA

C:¥SOLAR_DATA¥SDM_SOFTWARE¥USER_DATA¥0001_新栄電子¥1_工事



※フォルダの「C:¥SOLAR_DATA¥SDM_SOFTWARE」部分は変更できます。
１５．顧客情報・計測データ保存フォルダの設定を参照してください。

７－４．データ解析・レポート作成

［顧客データ表示画面になります。］

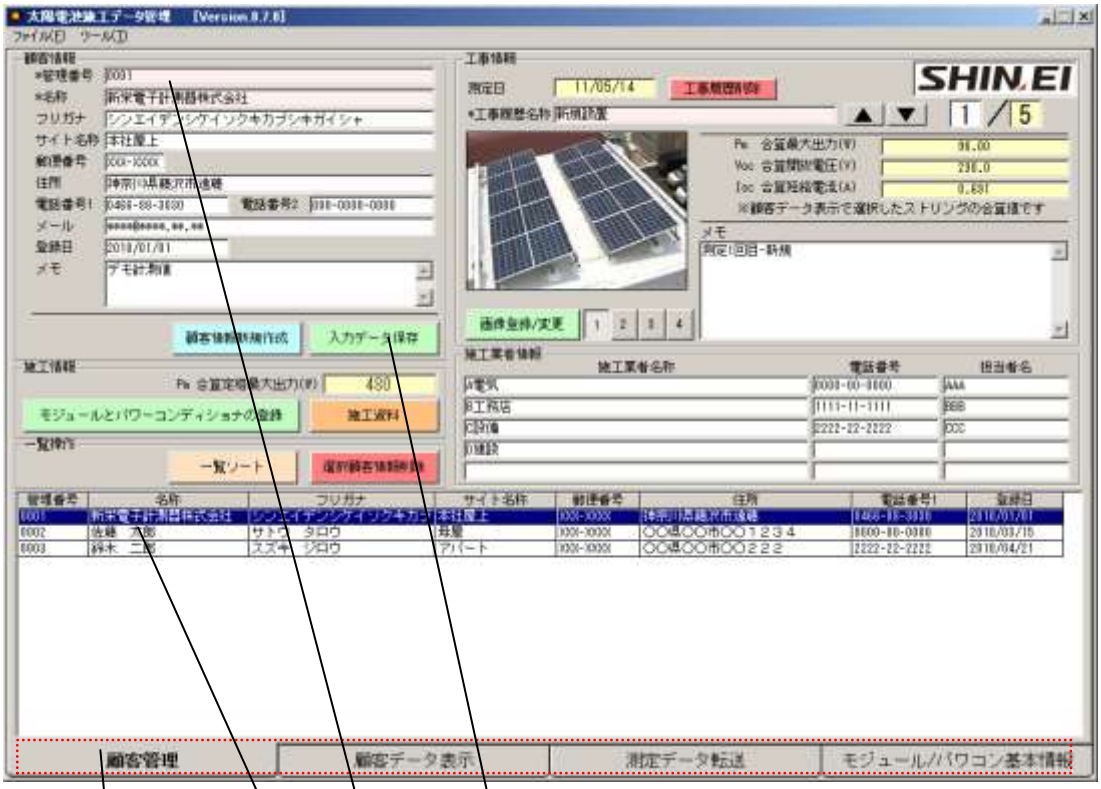
機能

１．特性の比較
２．ＰＶ特性を書く
３．データのＳＴＣ補正
４．プリント出力（レポート作成）

8．顧客情報の設定［顧客管理］

8－1．顧客情報設定

画面下にあるタグの”顧客管理”をクリックすると次の画面となります。



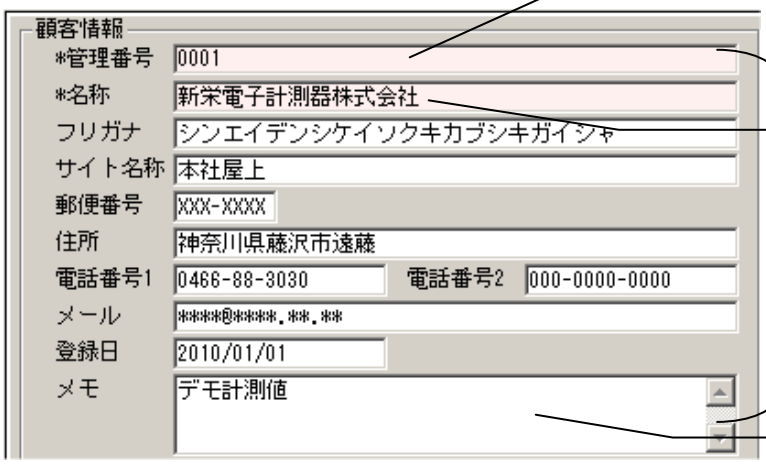
設定した顧客情報が保存されます。

・変更のときは、上書きされます。
・管理番号・名称を変更すると管理フォルダがリネームされます。

登録済みの顧客情報を選択します。

ここをクリックします。

8－1－1．顧客情報入力



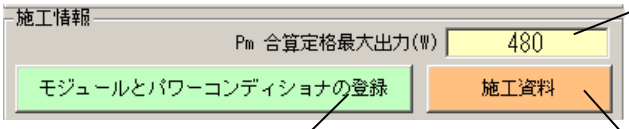
管理番号は入力必須項目です
※フォルダ名に使用されるので「_ / ： ； ， ＊ ？ ″ ＜ ＞ ｜ ？」が使えません

名称は入力必須項目です
※フォルダ名に使用されるので「_ / ： ； ， ＊ ？ ″ ＜ ＞ ｜ ？」が使えません

データを入力してください。

メモは複数行入力可能です。

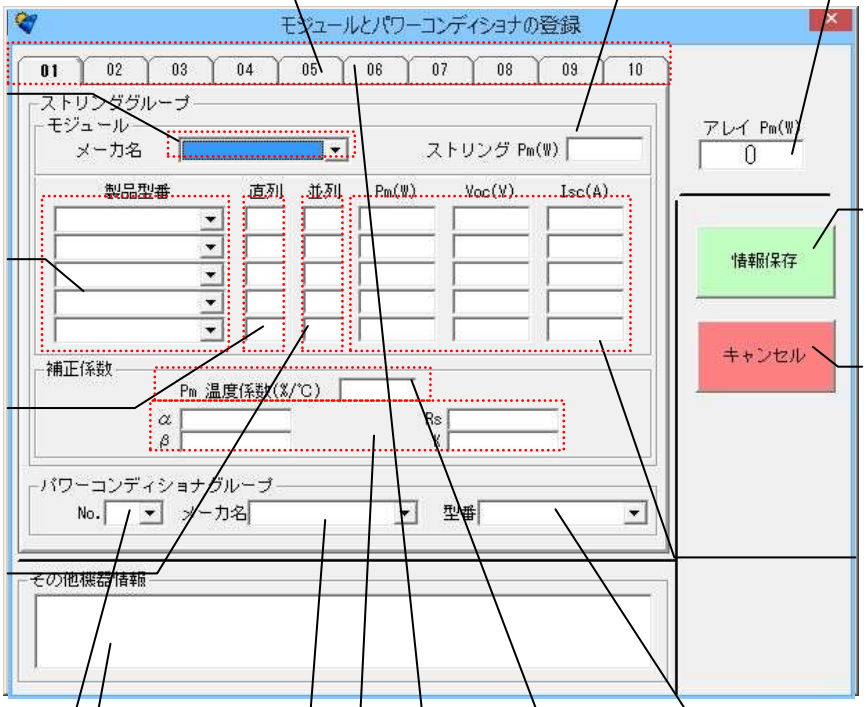
8－2．施工情報



選択したアレイ情報から理想の合算 Pm が表示されます。

施工資料を保存しておくフォルダが開かれます。

設置情報を設定するウィンドウが開きます。



最大 10 ストリングまで登録できます。

ストリング毎の Pm が表示されます。

個数を入力するとアレイ全体の Pm が表示されます。

登録済みのモジュールメーカを選択します。

登録済みの製品型番を選択します。

入力情報を保存してウィンドウを閉じます。

入力情報を破棄してウィンドウを閉じます。

接続されている直列数を入力します。

接続されている並列数を入力します。

Pm・Voc・Isc が表示されます。

パワコンのグループを選択します。

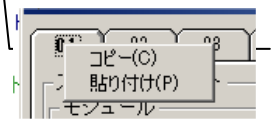
パワコンのメーカを選択します。

パワコンの型番を選択します。

最上段の製品の温度係数が表示されます。

その他機器情報(接続箱等)のメモが記録できます。

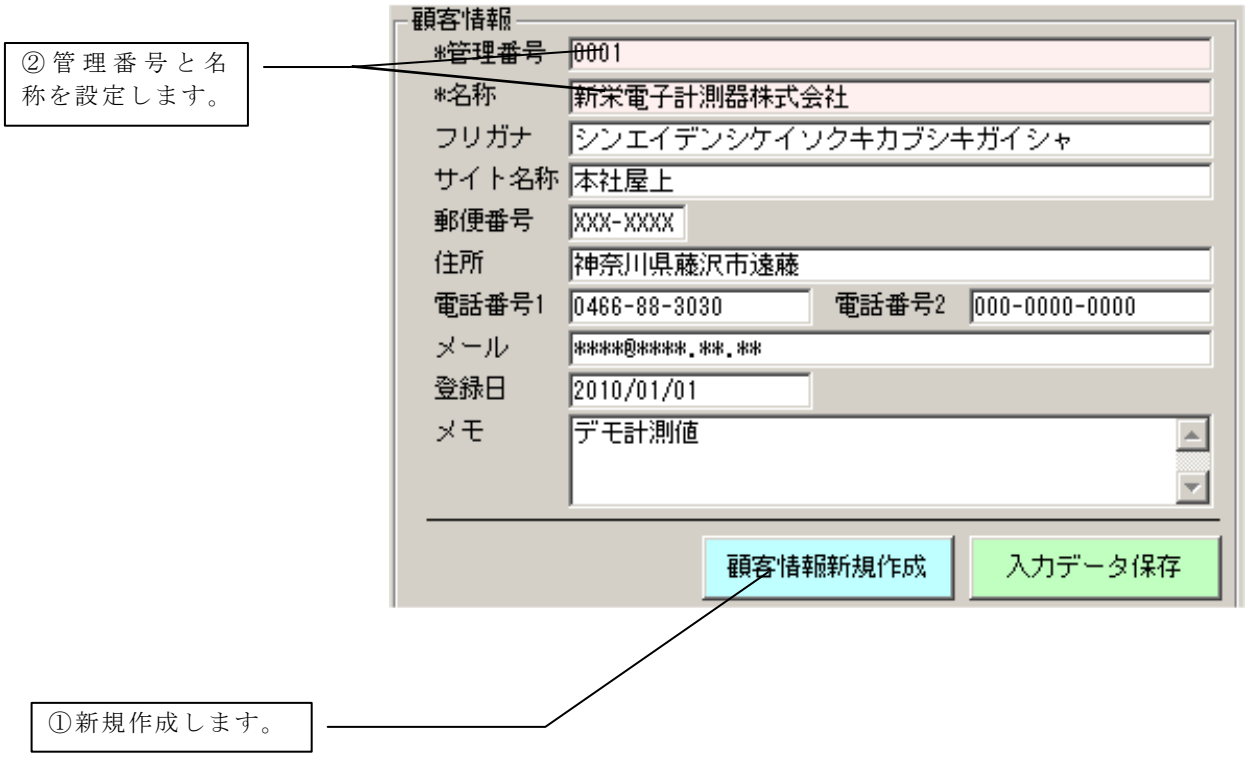
最上段の製品の補正係数 α・β・Rs・K が表示されます。



ストリング番号を右クリックすることでコピー/貼り付けのメニューが表示され、コピー/貼り付けが可能です。
※貼り付ける際は貼り付けたいストリングのページを表示して貼り付けてください。

８－３．新規顧客情報を設定する場合

１）既存データが表示されている場合は、顧客情報新規作成ボタン押してから管理番号と名称を設定してください。



２）工事履歴名称

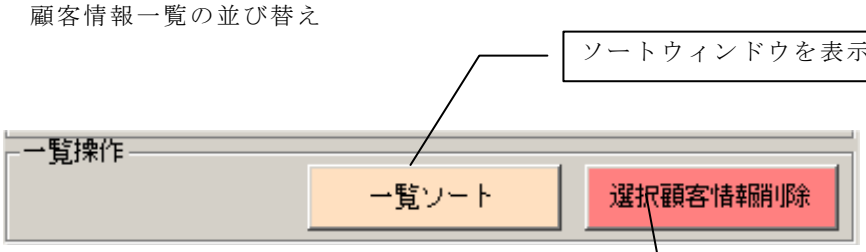
＊他の設定は、必要に応じて追加します。

８－４．顧客一覧

管理番号	名称	フリガナ	サイト名称	郵便番号	住所	電話番号1	登録日
0001	新栄電子計測器株式会社	シンエイデンシケイソクキカブ	本社屋上	XXX-XXXX	神奈川県横浜市港北	0466-88-3050	2010/01/01
0002	佐藤　太郎	サトウ　タロウ	井尾	XXX-XXXX	○○県○○市○○１２３４	0000-00-0000	2010/03/15
0003	鈴木　二郎	スズキ　ジロウ	アパート	XXX-XXXX	○○県○○市○○２２２	2222-22-2222	2010/04/21

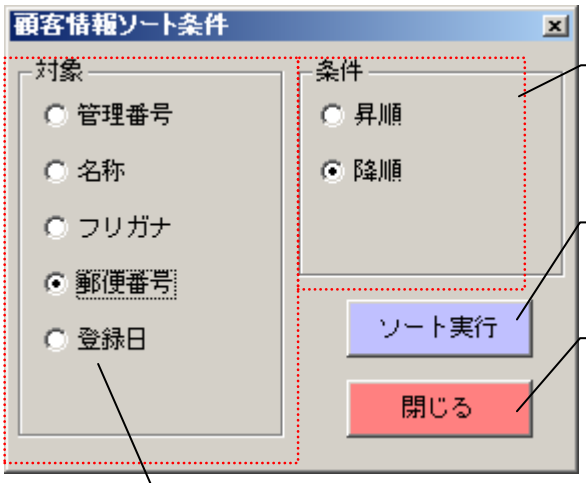
保存された顧客情報が一覧で表示されます。
マウスで選択すると青く反転し､その顧客情報と工事情報が表示されます。
※顧客一覧にて選択を行わないと測定データ表示画面や測定データ転送画面に遷移できません。

顧客情報一覧の並び替え



ソートウィンドウを表示します。

選択している顧客情報を削除します。
※計測データも全て削除されます。



ソート条件を設定します。

設定した条件でソートを行います。

ソートウィンドウを閉じます。

ソートする対象の設定を行います。

※管理番号の昇順がデフォルトです。

9．工事情報設定

9-1．工事履歴名選択

工事履歴を削除します。
※選択された工事の測定データも消えます。

測定された日付が表示されます。

工事履歴名称を入力します。
測定装置から転送する前に履歴名称を設定します。
※フォルダ名に使用されるので「_ / ： ； ， ＊ ？ ″ ＜ ＞ ｜ ？」が使えません
※１つの顧客情報内で名称はユニークである必要があります。

ページ切り替えを行います。
※右側のデータ数＋１まで切り替えると新しい工事情報が作成できます。

ストリング測定データを合算し、アレイデータが、表示されます。
測定データ表示でチェックされた値の合計が表示されま

メモを記します。
メモは複数行入力可能です。

9－2．画像登録変更

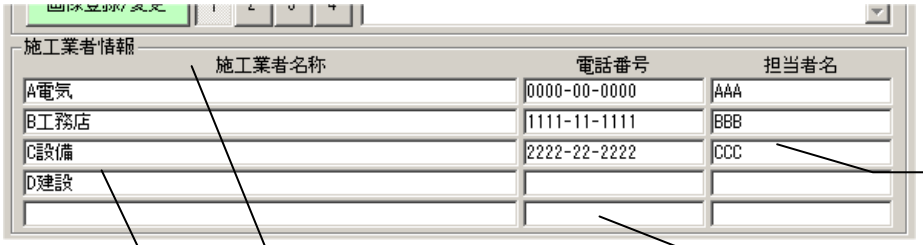
表示エリアより大きい画像の場合は縦もしくは横サイズに合わせて縮小表示されます。
表示エリアより小さいサイズは拡大されて表示されます。
画像をダブルクリックすると Windows で拡張子に登録されたソフトウェアで表示されます。

画像の登録/変更が行えます。（最大 4 個）
※選択された画像は VGA サイズに縮小(VGA サイズ以下は無変更)され、工事履歴名称のフォルダにコピーされます。

ボタンを押して切り替える毎に登録された画像がロードされます。

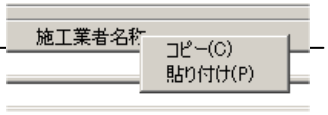
選択された番号に登録され、画像が表示されている時に、番号の上で右クリックすると画像削除メニューが表示されますので、削除したい場合は画像削除を選択してください。

9－3．施工業者情報設定



施工業者の担当者名を記録します。

施工業者の電話番号を記録します。



施工業者名称のタイトルを右クリックするとコピー/貼り付けのメニューが表示され、コピー/貼り付けが可能です。

施工業者名称を記録します。（最大 5 社）

１０．ＳＩＶ－６００ＺなどＩ－Ｖ測定器からの測定データ転送

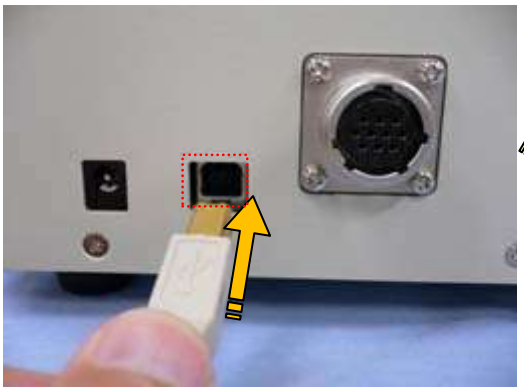
最初に、ＳＩＶ－６００ＺなどＩ－Ｖ測定器とＰＣを接続します。

１０-１．接続

※本体に接続できる測定器は１台のみとなります。

１０-１-１．ＳＩＶシリーズの場合

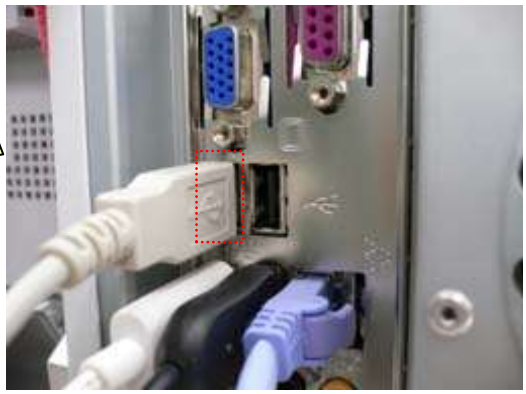
本体の右側に存在する USB ポートに接続してください。



しっかり奥まで差し込んでください。

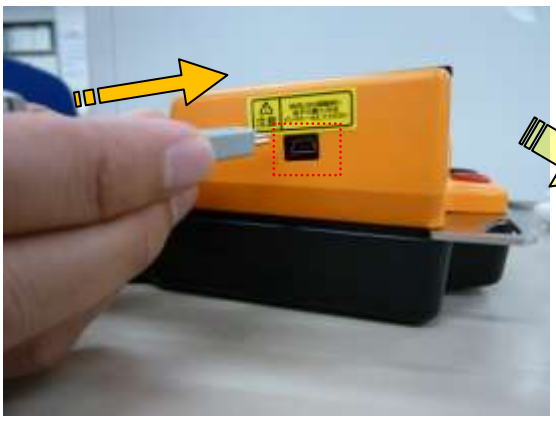
パソコン側の USB2.0/3.0 ポートに接続します。
※USB3.0 のポートでは動作しない場合があります。
（例はデスクトップパソコンですが、ノートパソコンでも同様です）

しっかり奥まで差し込んでください。



１０-１-２．ＩＶＨシリーズの場合

本体の右側に存在する USB ポートに接続してください。



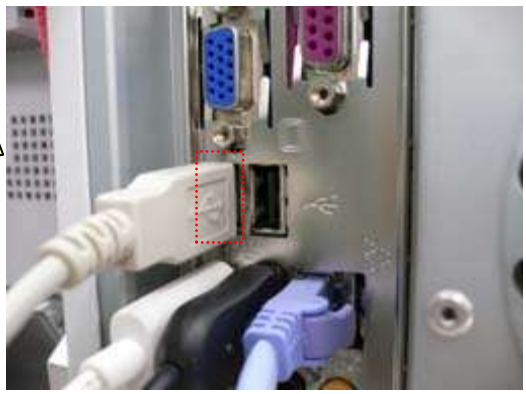
しっかり奥まで差し込んでください。

パソコン側の USB2.0/3.0 ポートにも接続します。

※USB3.0 のポートでは動作しない場合があります。

（例はデスクトップパソコンですが、ノートパソコンでも同様です）

しっかり奥まで差し込んでください。

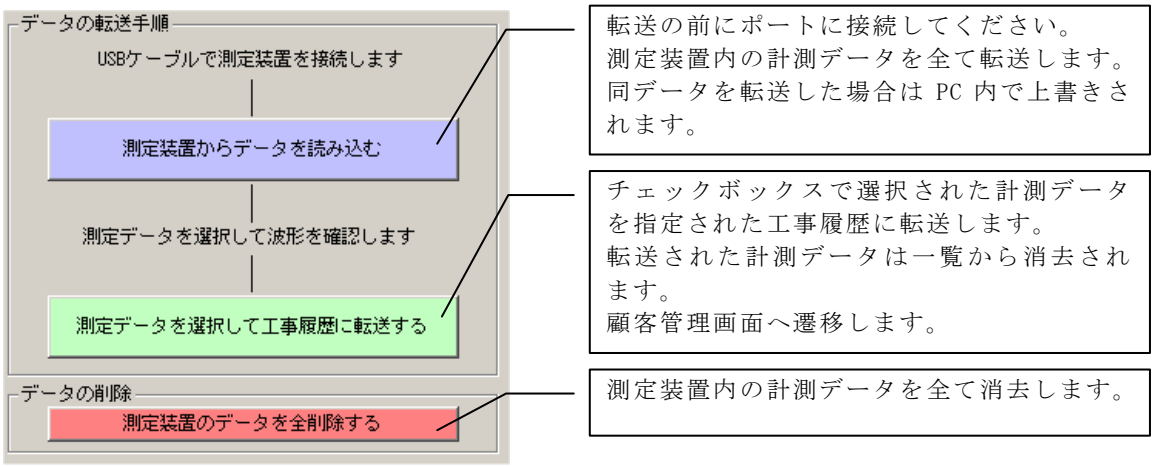


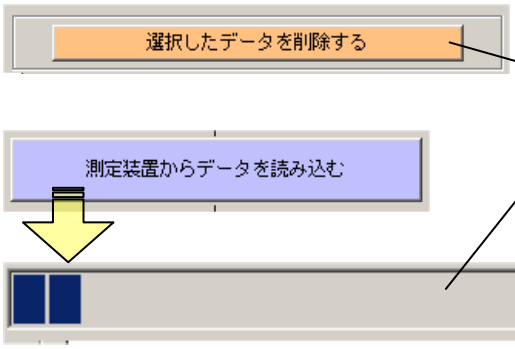
１０－２．転送操作

＊IVH-400Z・IVH-500Z・IVH-1000Z の一部機種の場合、本体に時計機能が存在しない機種のデータは転送した日付と時間になります。

※本取扱説明書の１０－１．の接続終了後に実行してください。

※接続が行われていない、または Windows が認識していない状態で操作すると未接続エラーの警告が出ます。





チェックボックスで選択された計測データを削除します。

転送中は進捗情報バーが表示されます。
※ケーブルは絶対に抜かないでください。

１１．測定データ表示

１１-１．一覧表示

全て選択されている場合には全クリア、一つでも選択されている場合には全て選択となります。

チェックを付けて波形表示を行うと PV カーブが描かれます。

チェックボックスで選択された測定データの波形を表示します。

波形をクリアします。

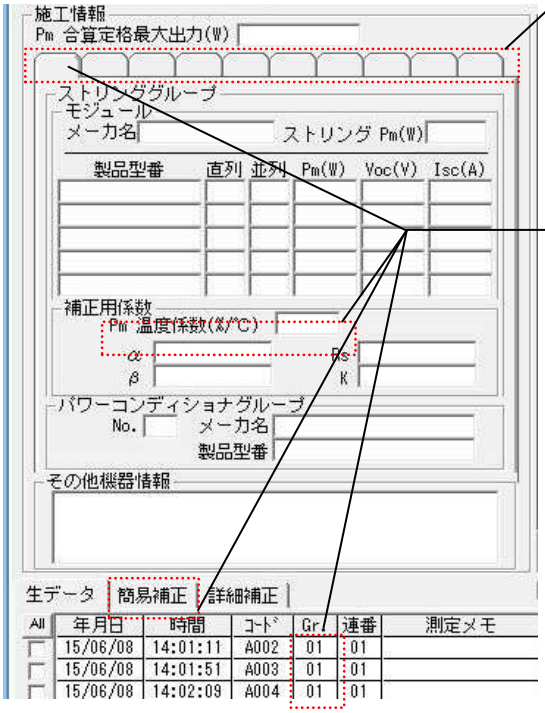
	年月日	時間	ｺｰﾄﾞ	Gr.	連番	測定メモ	Pm(W)	Voc(V)	Isc(A)	FF	セル(℃)	外気(℃)	E(W/m²)	汚れ	傾斜(度)	定格(Kw)	閾値(%)	判定結果
	15/06/15	13:27:04	A001	01	01		1524	484.8	4.162	0.76	28.8	--	265	--	--	--	--/--	--
	15/06/15	13:27:40	A002	01	01		1516	480.6	4.200	0.75	29	--	267	--	--	--	--/--	--
	15/06/15	13:27:52	A003	01	01		1535	478.2	4.277	0.75	29	--	269	--	--	--	--/--	--
	15/06/15	13:28:05	A004	01	01		1471	477.3	4.110	0.75	29.1	--	265	--	--	--	--/--	--
	15/06/15	13:28:15	A005	01	01		1275	476.8	3.918	0.68	29.1	--	257	--	--	--	--/--	--
	15/06/15	13:28:25	A006	01	01		1487	480.8	4.149	0.75	29.1	--	262	--	--	--	--/--	--
	15/06/15	13:28:36	A007	01	01		1547	483.5	4.298	0.75	29.3	--	269	--	--	--	--/--	--
	15/06/15	13:28:46	A008	01	01		1465	477.3	4.090	0.75	29.3	--	262	--	--	--	--/--	--
	15/06/15	13:28:54	A009	01	01		1465	479.5	4.072	0.75	29.3	--	262	--	--	--	--/--	--
	15/06/15	13:29:05	A010	01	01		1541	480.6	4.264	0.75	29.5	--	269	--	--	--	--/--	--
	15/06/15	13:29:14	A011	01	01		1570	481.0	4.354	0.75	29.5	--	274	--	--	--	--/--	--
	15/06/15	13:29:23	A012	01	01		1610	480.9	4.469	0.75	29.5	--	279	--	--	--	--/--	--
	15/06/15	13:48:25	A013	01	01		1566	474.5	4.418	0.75	34.6	--	760	--	--	--	--/--	--
	15/06/15	13:48:35	A014	01	01		1560	474.7	4.405	0.75	34.8	--	722	--	--	--	--/--	--

ダブルクリックで変更が可能になります。
※変更データは転送時に有効となり、転送前に画面を移動すると変更したデータは無効になります。
※年月日のフォーマットは数値で「YY/MM/DD」。
※時間のフォーマットは数値で「HH:MM:SS」。
※コードのフォーマットは「0001～9999・A001～Z999」。
※ストリングのフォーマットは数値で「01～10」。

１２．顧客データ表示

１２-１．施工情報と補正データの関連性

《簡易補正》



情報が入力されていない番号は表示されません。

補正データに使用される温度補正は「Gr.」欄に表示されているストリングの番号と施工情報の番号とがリンクされており、画面の例では 01 のストリングの Pm 温度係数欄に表示された「-0.002」が計算に使用されます。
※ストリング「St.」欄が“--”や選択した番号にモジュールの登録が無い場合、温度補正は行われないメッセージが表示されます。。

日射量１０００Ｗ／㎡
パネル温度２５℃の時の値に補正します。

【補正に使用するパラメータ】

１．補正のための係数（測定するモジュールの仕様値）
　・Ｐｍ温度補正係数　　：温度が１℃変動した時の最大電力Ｐｍの変動値（％/℃）
　・定格容量　　：測定しているストリングの定格容量
２．日射量
３．モジュール温度

【計算式】

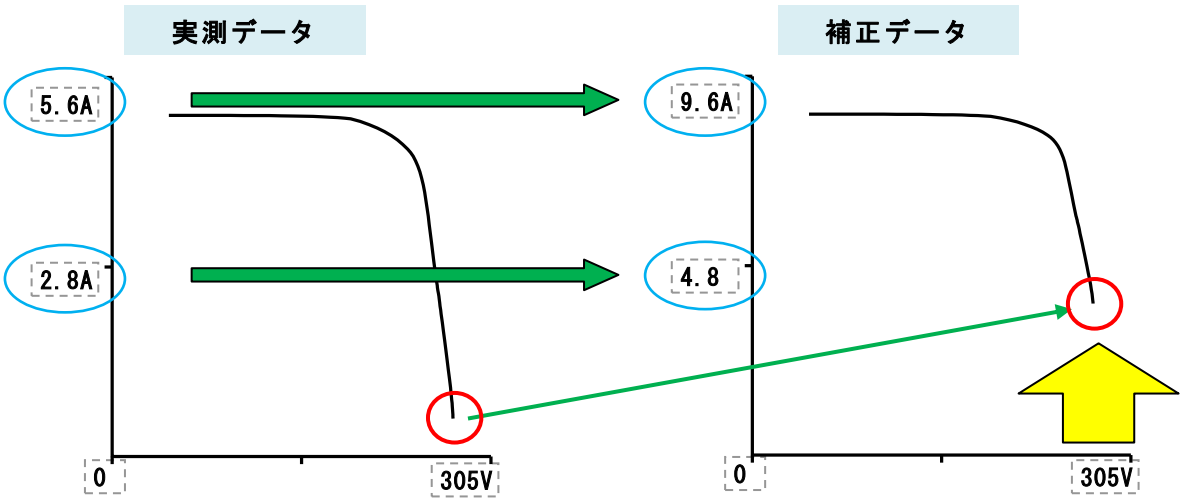
基準状態での日射量　　：Ｅ２（１０００Ｗ/㎡）
基準状態での太陽電池モジュール温度　：Ｔ２（２５℃）

測定した日射量　　：Ｅ１
測定した太陽電池モジュール温度　　：Ｔ１
測定した短絡電流値　　：Ｉｓｃ
測定した電流値　　：Ｉ１
測定した最大出力電圧値　　：Ｖｐｍ

日射補正された電流値　　：Ｉｃ
日射補正された最大電力値　　：Ｐｍｘ
日射・温度補正された最大電力値　　：Ｐｍｃ

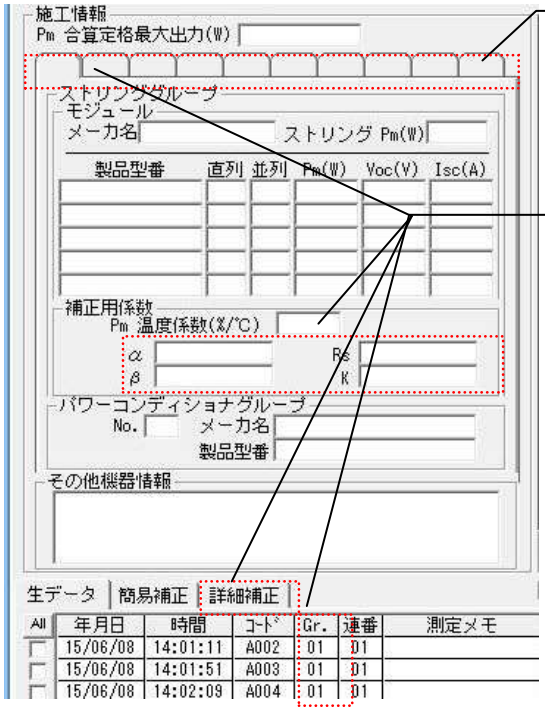
上記のように定義すると、
Ｉｃ・ＰｍｘおよびＰｍｃは以下のようになります。

Ｉｃ＝Ｉ１＋Ｉｓｃ（(Ｅ２/Ｅ１）－１）
Ｐｍｘ＝Ｉｃ×Ｖｐｍ
Ｐｍｃ＝Ｐｍｘ＋（定格容量×Ｐｍ温度補正係数/１００）×（Ｔ２－Ｔ１）



補正を行うと日射量で電流が補正されるので、
上記のようにグラフが変化します。

《詳細補正》



情報が入力されていない番号は表示されません。

補正データに使用される温度補正は「Gr.」欄に表示されているストリングの番号と施工情報の番号とがリンクされており、画面の例では 01 のストリングのα・β・Rs・K の欄に表示された値が計算に使用されます。
※補正用係数のα・β・Rs・K のデータの未入力の部分は 0 で計算を行うメッセージが表示されます。

日射量１０００W／㎡
パネル温度２５℃の時の値に補正します。

【補正に使用するパラメータ】

ストリンググループ内に型番に違いがあるときは計算しません。

１．補正のための係数（測定するモジュールの仕様値）

・α　：温度が１℃変動した時の短絡電流Ｉｓｃの変動値（Ａ/℃）
　　α＝ｎ×αｃ　ｎ：並列枚数

・β　：温度が１℃変動した時の開放電圧Ｖｏｃの変動値（Ｖ/℃）
　　β＝ｎ×βｃ　ｎ：直列数

・Ｒｓ　：太陽電池モジュールの直列抵抗（Ω）

・Ｋ　：曲線補正因子（Ω/℃）

２．日射量

３．モジュール温度

【計算式】

基準状態での日射量　：Ｅ２（１０００W/㎡）
基準状態での太陽電池モジュール温度　：Ｔ２（２５℃）

測定した日射量　：Ｅ１
測定した太陽電池モジュール温度　：Ｔ１
測定した短絡電流値　：Ｉｓｃ
測定した電流値　：Ｉ１
測定した電圧値　：Ｖ１

補正された電流値　：Ｉ２
補正された電圧値　：Ｖ２

上記のように定義すると、
補正された電流値Ｉ２と補正された電圧値Ｖ２は以下のようになります。

Ｉ２＝Ｉ１＋Ｉｓｃ（(Ｅ２/Ｅ１）－１）＋α（Ｔ２－Ｔ１）

Ｖ２＝Ｖ１＋β（Ｔ２－Ｔ１）－Ｒｓ（Ｉ２－Ｉ１）－Ｋ・Ｉ２（Ｔ２－Ｔ１）

１２-２．一覧表示

生データ・簡易補正データ・詳細補正データを切り替えます。
※表示波形は再表示されます。

チェックの付いたデータの波形を表示します。

波形をクリアします。

PV 波形の表示/非表示を選択します。

チェックの付いたデータを削除します。

合算はチェックの入ったストリングスの合算値になります。
＊Ｉｓｃは、加算値。
　Ｖｏｃは、平均値。
　Ｉｐｍは、加算値。
　Ｖｐｍは、平均値。
　ＦＦは、計算値。
　セル温度、日射量は、平均値。

工事に関するレポートを別ウィンドウで表示します。
※チェックの付いたデータを使用します。
※レポートに使用できるデータ数は20 個となります。
※測定器内部での結果表示を非表示にするとレポートでも非表示となります。

一覧右側の判定結果に対し表示/非表示を切り替えます。
※表示波形は再表示されます。

ダブルクリックで変更が可能になります。
※最上段の合算は変更できません。
※データは「生データ・簡易補正・詳細補正」で共通です。
※年月日のフォーマットは数値で「YY/MM/DD」。
※時間のフォーマットは数値で「HH:MM:SS」。
※コードのフォーマットは「0001～9999・A001～Z999」。
※ストリングのフォーマットは数値で「01～10」。
※回数のフォーマットは数値で「01～99」。

全て選択されている場合には全クリア、他の場合は全選択となります。

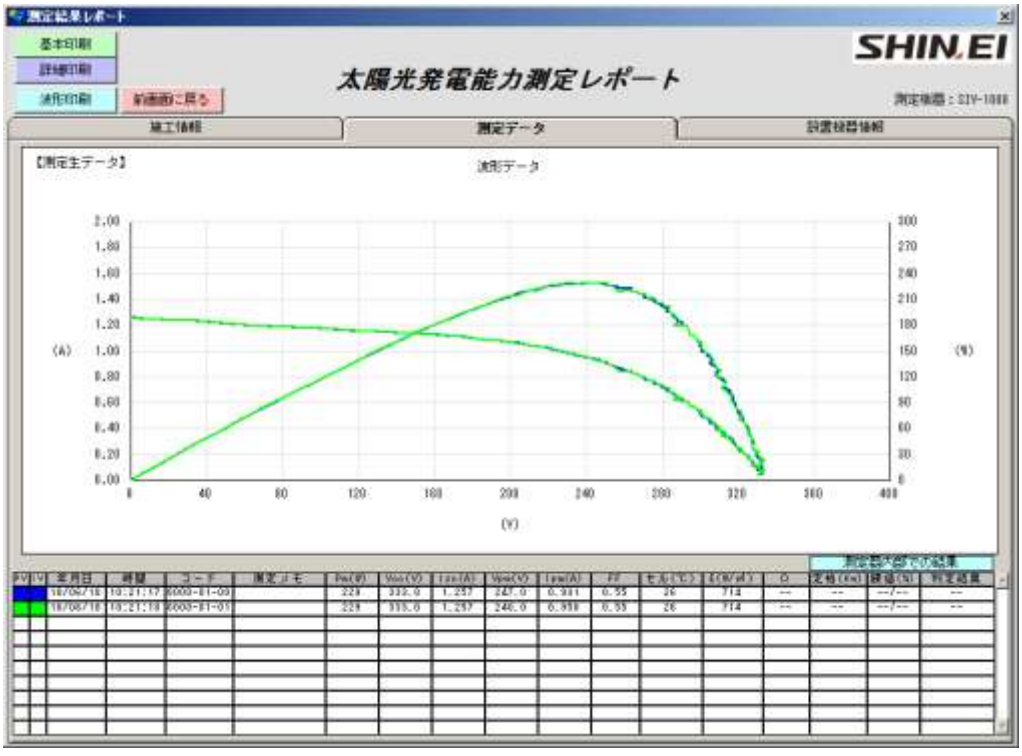
※IVH-2000 のデータが含まない場合は SDT-1600 の表示項目となり、「Vpm(V)」「Ipm(A)」「Ω」の代わりに「外気(℃)」「汚れ」「傾斜(度)」が表示されます。

１３．レポート作成

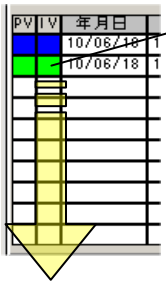
１３-１．レポート画面

１）施工情報が表示できます。

２）測定データが表示できます。

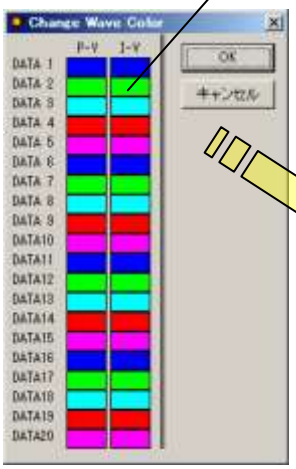


※波形の色変更ができます。
　デフォルトは IV 曲線が青、PV 曲線が赤となっています。
　変更された色情報は全データ共通で保持されます。

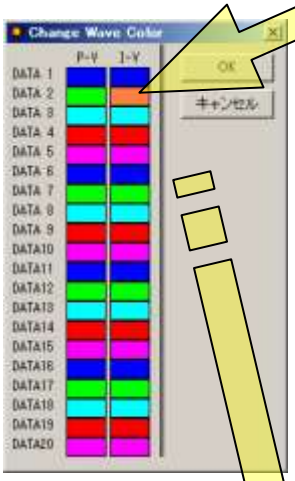


ダブルクリックすると波形の色変更ウィンドウが表示されます。

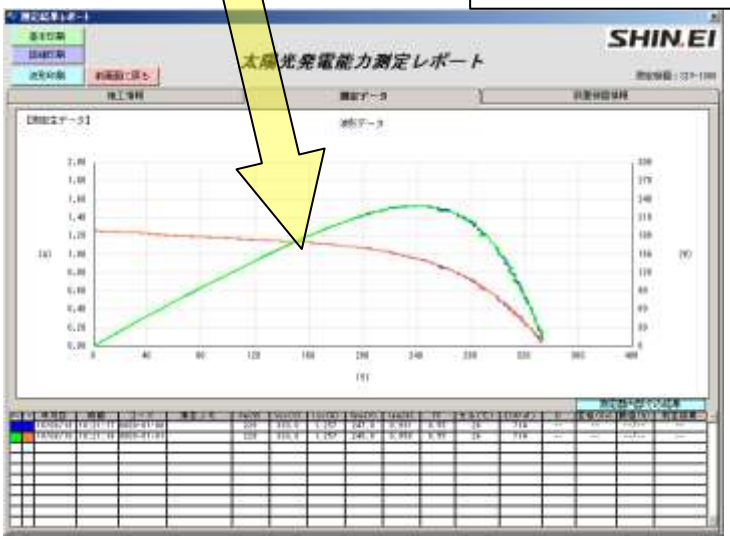
変更したい枠をダブルクリックすると色選択ウィンドウが表示されます。



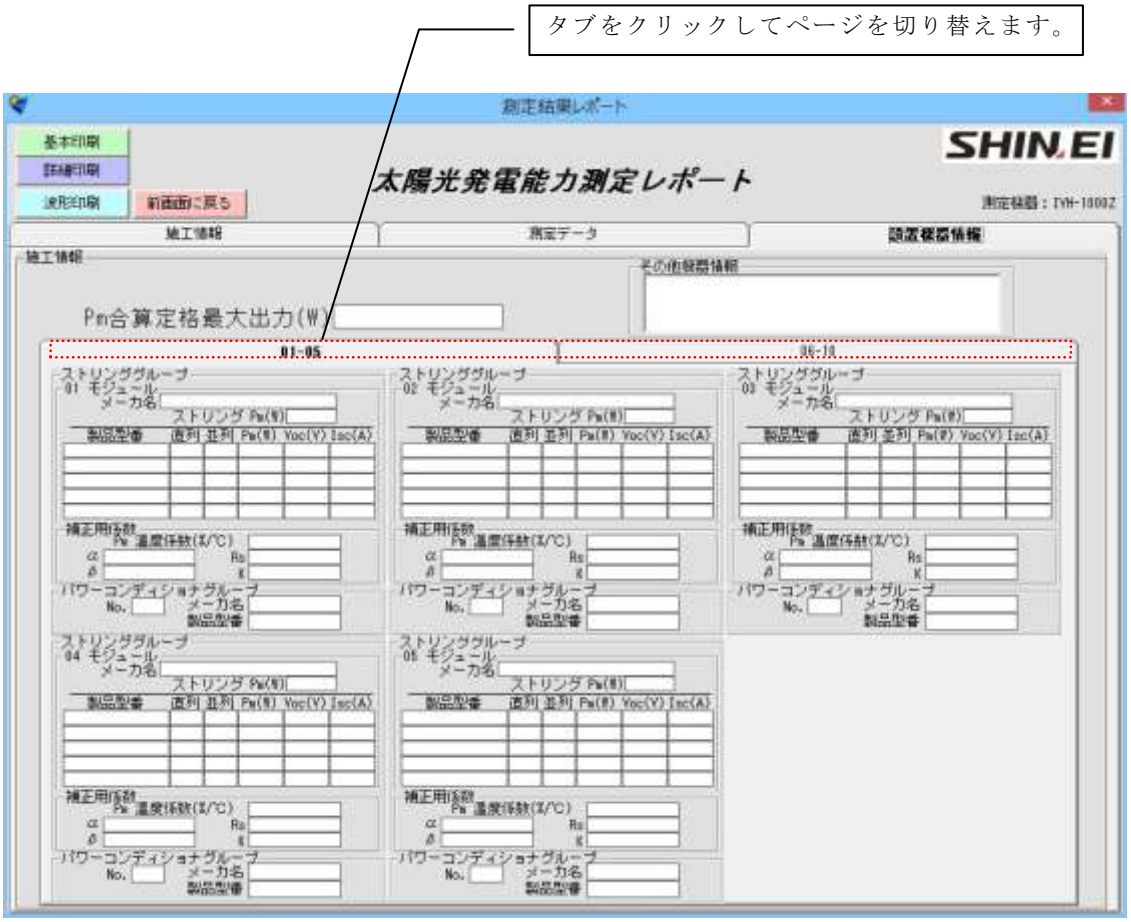
色を選択し、OK を押すことで色が決定されます。



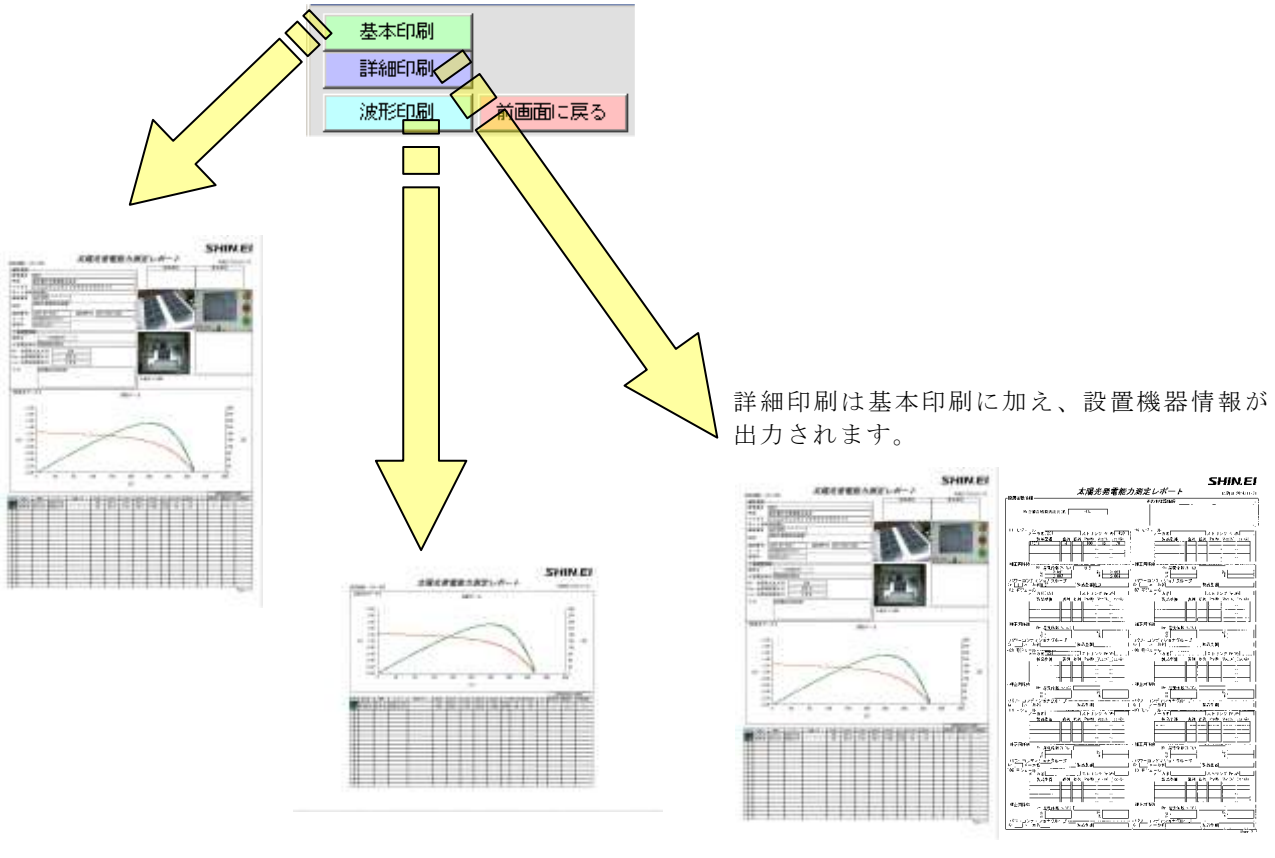
OK を押すと選択した色で波形が再描画されます。



3）設置機器情報



4）印刷種類

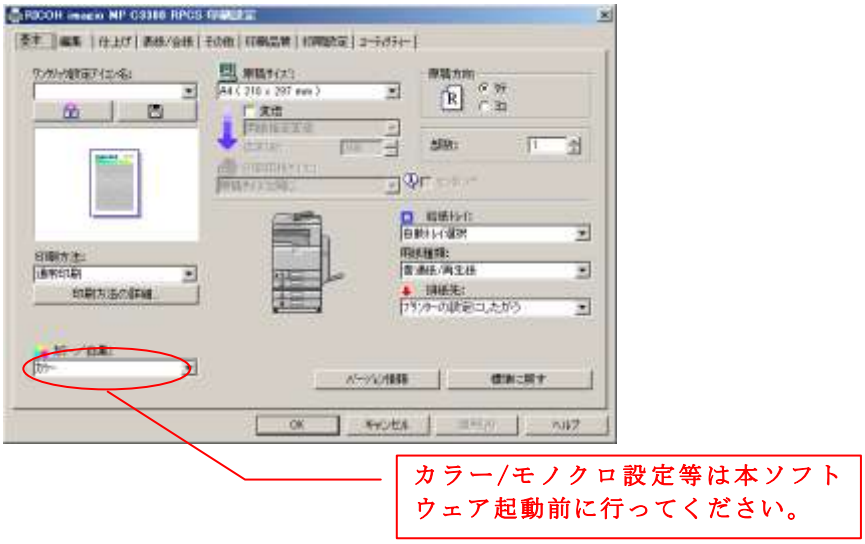


詳細印刷は基本印刷に加え、設置機器情報が出力されます。

・印刷は Windows で設定されている「通常使うプリンターに設定」から出力されます。
・通常使うプリンターは下図のコントロールパネル→デバイスとプリンターの表示を選択し、緑のチェックマークが付いているプリンターが該当します。

【注意】
本ソフトウェアを起動後にプリンターの設定を変更しても有効にならない場合がありますので、カラーやモノクロ等の設定は、本ソフトウェア起動前に行ってください。

《サンプル》RICHO 社製プリンターの場合

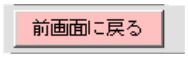


５）ロゴ変更

このロゴはプログラム終了後も保持され、レポート印刷時にも使用されます。
また、設定した画像が削除されるなど見つからない場合は、弊社のデフォルトロゴが表示されます。

※画像サイズ
　およそ 150×30 ピクセルで作成が基準となります。
※他のサイズでも表示は可能ですが、画像が大きくなる場合、原点が右上なので左側に画像が大きくなっていくため、タイトルなどと重なる場合があります。

６）前画面に戻る



レポート画面を閉じて前画面（データ表示画面）に戻ります。

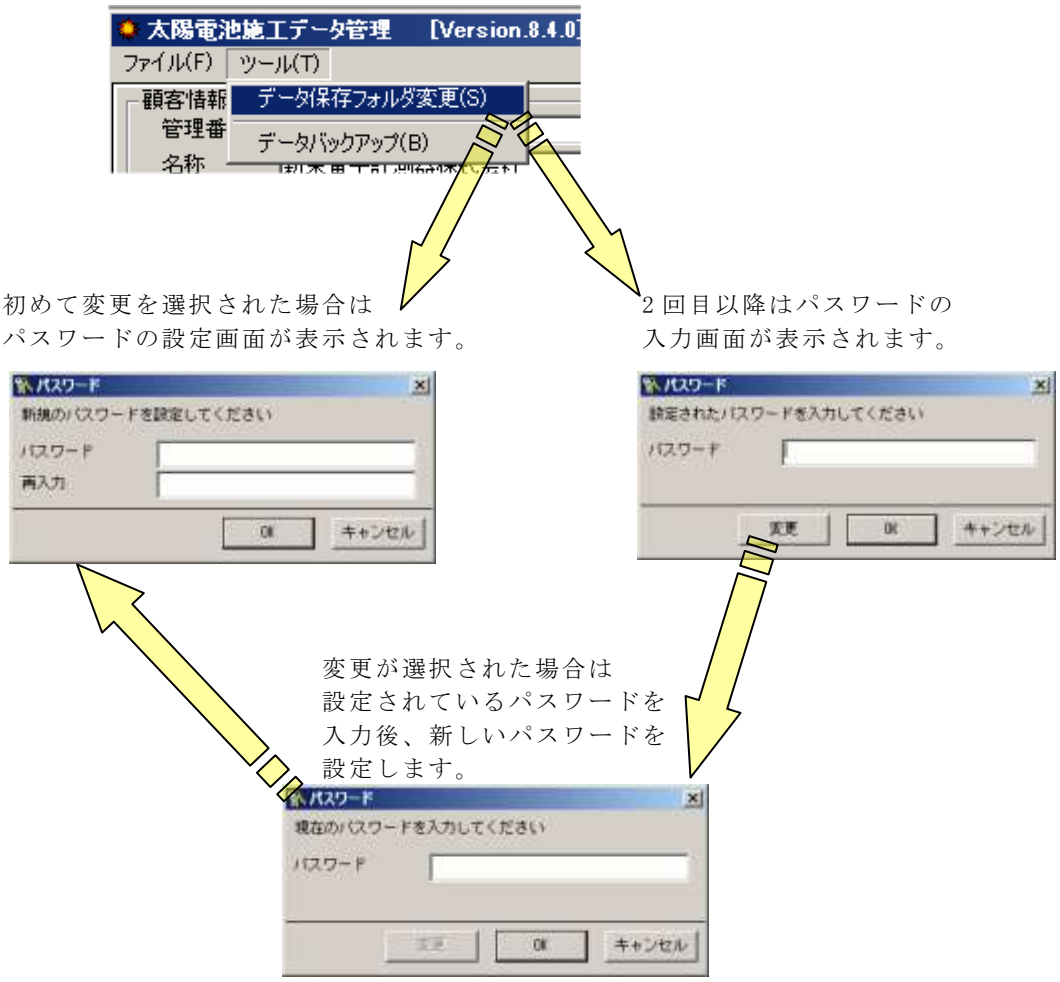
１４．表示言語の選択

本ソフトウェアを最初に起動した際に、OS が日本語かそれ以外かを判断し、日本語だった場合には日本語に、それ以外だった場合には英語で表示されるようになります。

※Windows が表示するメッセージ(メッセージウィンドウのはい・いいえ)は OS の言語に依存します。
※入力や表示に使用される言語は OS に依存します。

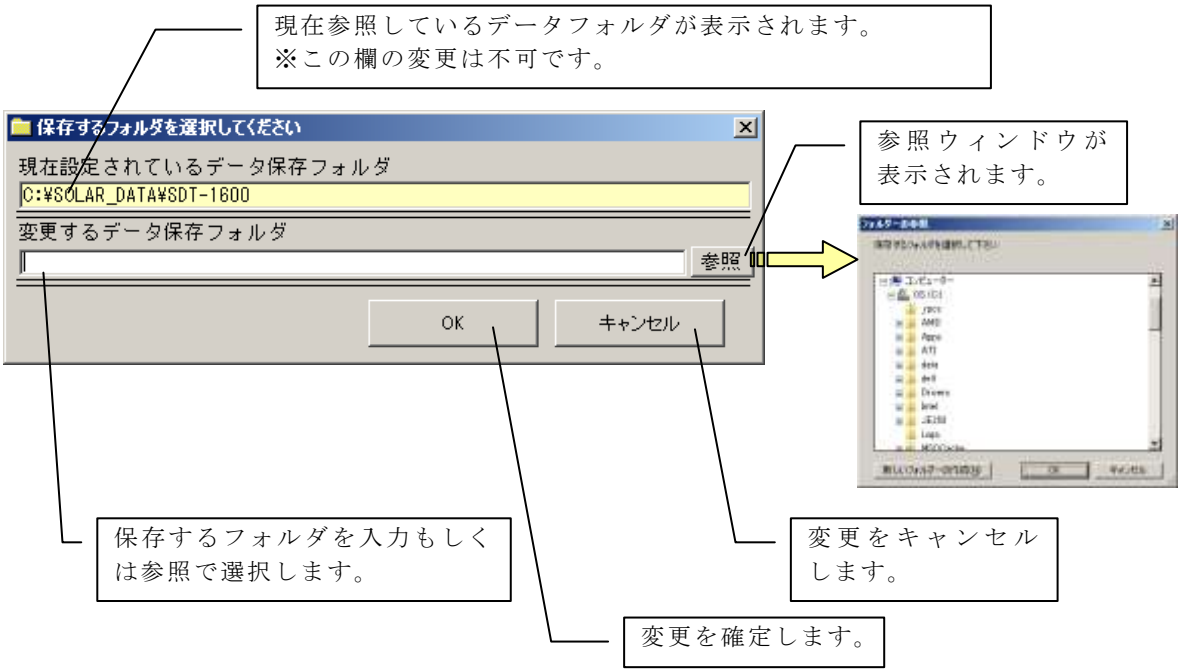
１５．顧客情報・計測データ保存フォルダの設定

○顧客情報や計測データを保存するフォルダは初回起動時に自動設定されますが、後から変更する事ができます。



※パスワードはお客様にて厳重にご管理願います。
万が一パスワードを紛失してしまった場合は弊社へご連絡願います。

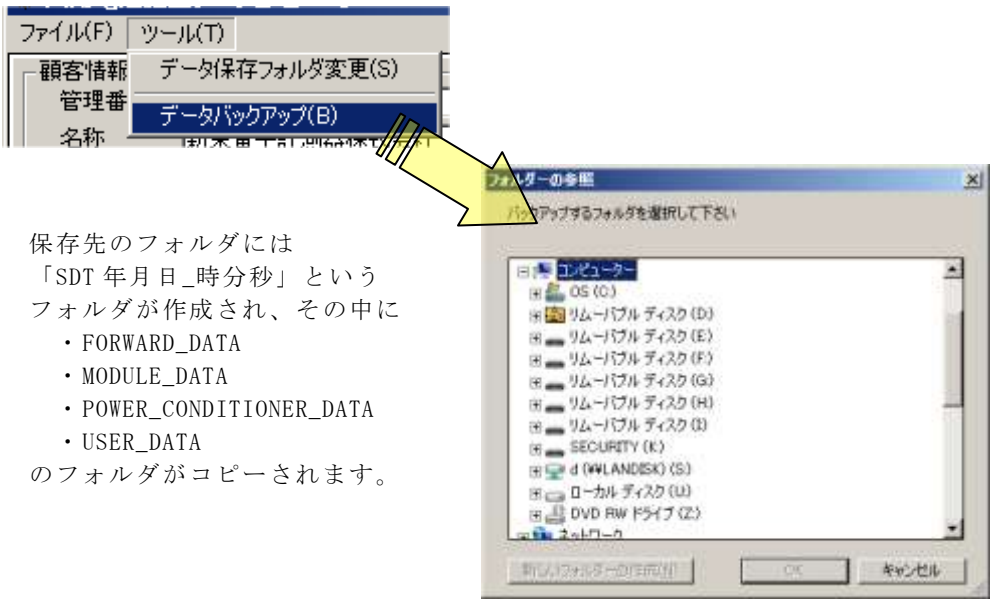
パスワードの設定もしくは、パスワードの入力が正しく行われた場合にフォルダ変更ウィンドウが表示されます。



※データ保存フォルダを変更した場合には本ソフトウェアが自動的に終了しますので、ショートカット等で再起動してください。

１６．データのコピー

データ保存フォルダの全てのデータをコピーします。

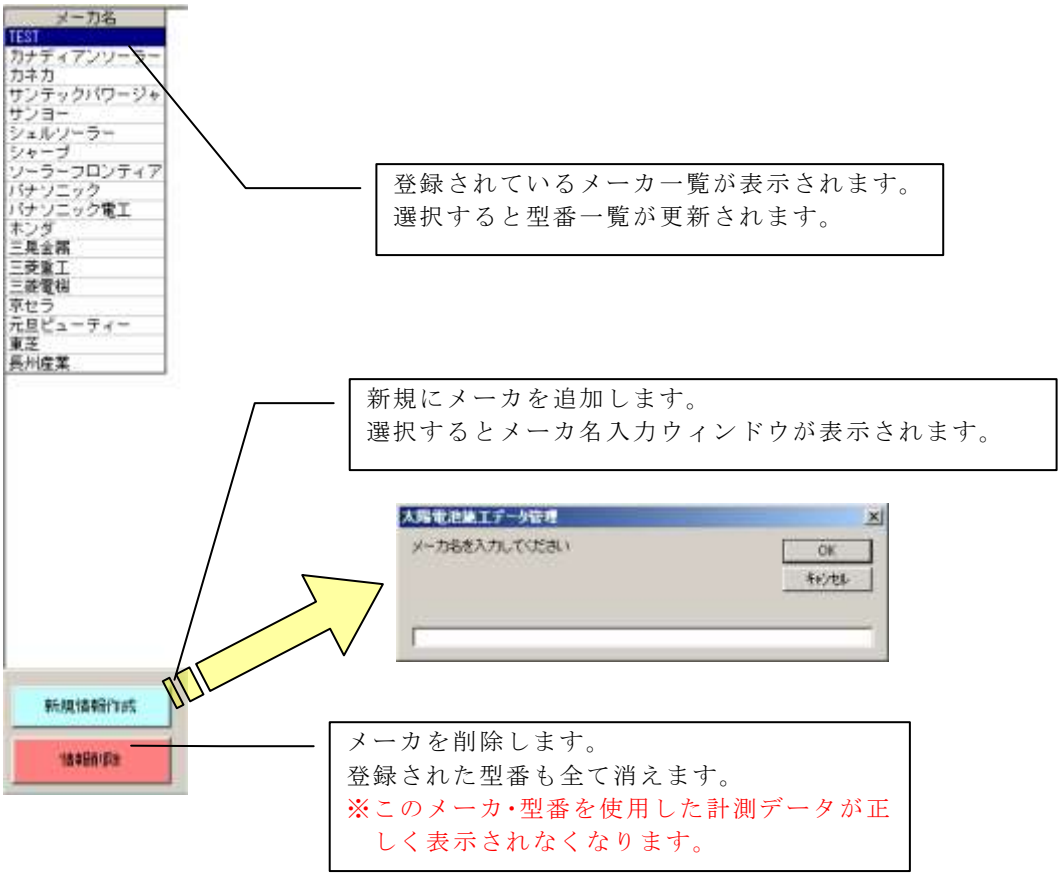


保存先のフォルダには
「SDT 年月日_時分秒」という
フォルダが作成され、その中に
- FORWARD_DATA
- MODULE_DATA
- POWER_CONDITIONER_DATA
- USER_DATA

のフォルダがコピーされます。

１７．モジュール基本情報

１７-１．メーカ名一覧



１７-２．型番一覧

登録されている型番一覧が表示されます。
選択すると詳細情報が表示されます。

新規にモジュールを追加します。
選択すると型番入力ウィンドウが表示されます。

選択された型番を削除します。
※この型番を使用した計測データが正しく表示されなくなります。

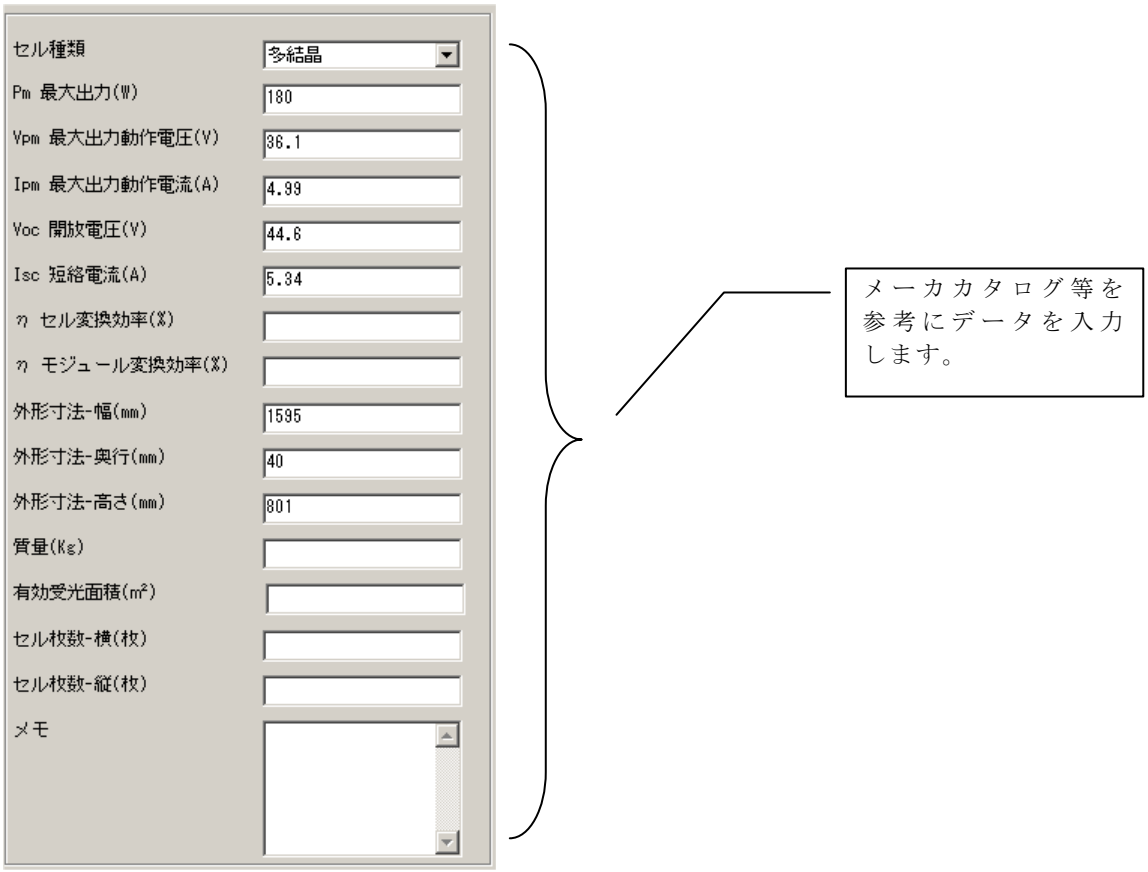
１７-３．製品写真

型番が選択されると登録されていた画像が表示されます。
表示エリアより大きい画像の場合は縦もしくは横サイズに合わせて縮小表示されます。
表示エリアより小さいサイズは拡大されて表示されます。
画像をダブルクリックするとWindowsで拡張子に登録されたソフトウェアで表示されます。

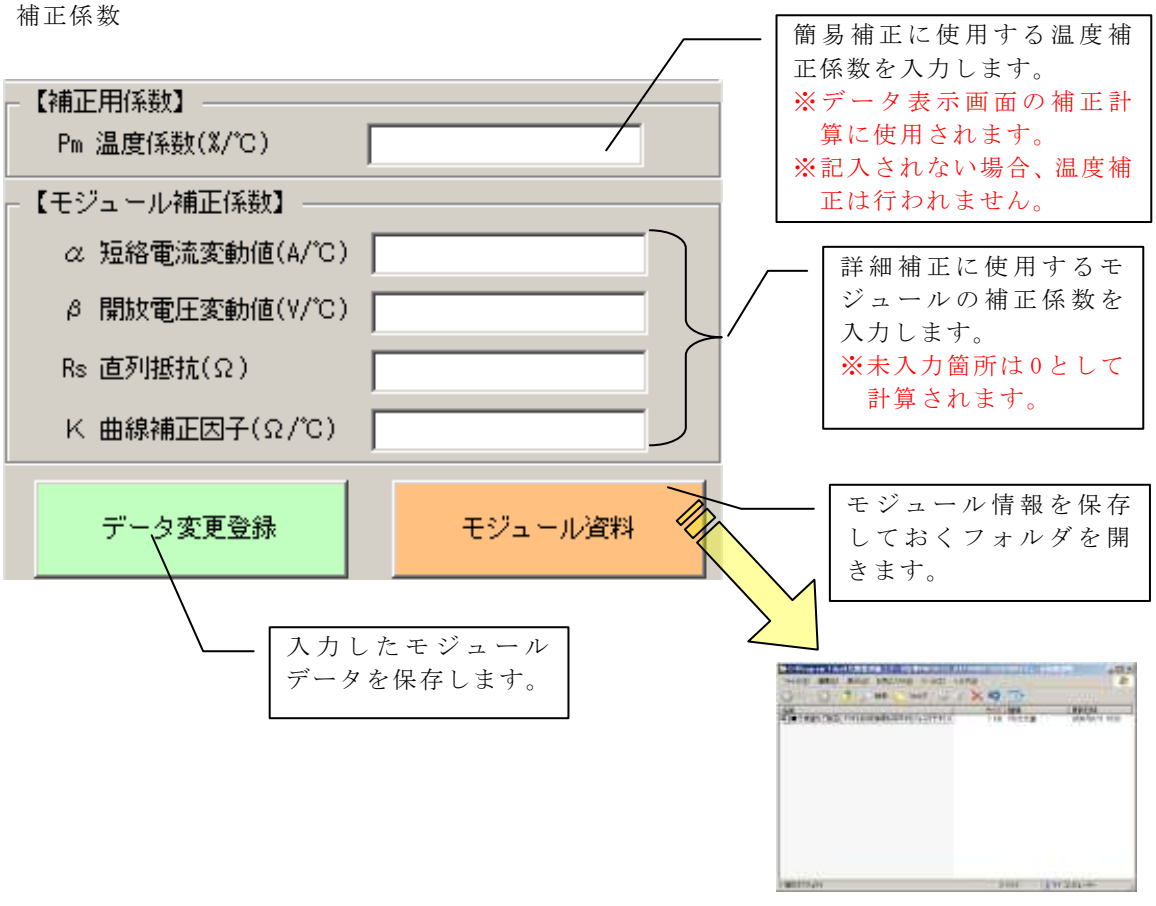
画像の登録/変更が行えます。
※ファイル選択ウィンドウでキャンセルを選択すると登録した画像を削除するかを問うウィンドウが表示されます。

画像が表示されている時に画像エリア上で右クリックすると画像削除メニューが表示されますので、削除したい場合は画像削除を選択してください。

１７-４．モジュールデータ

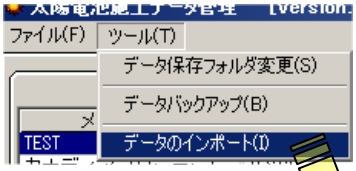


１７-５．補正係数

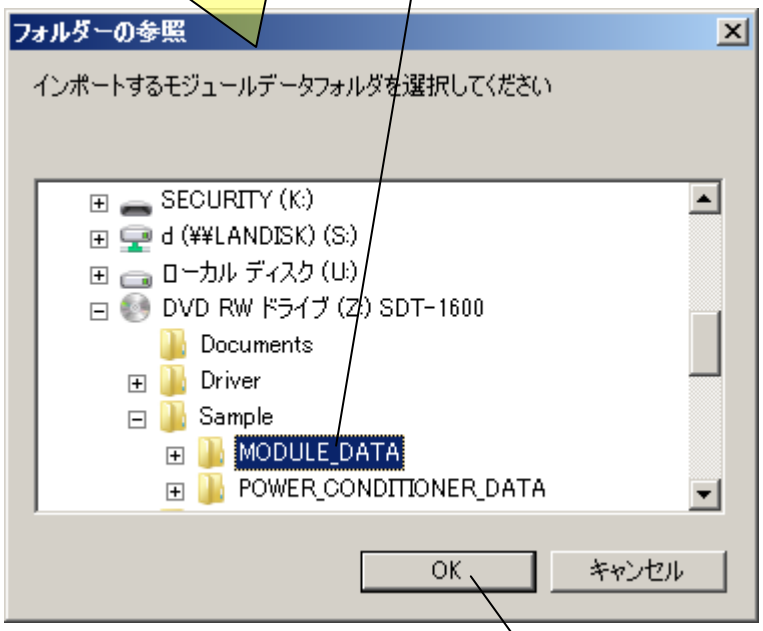


１７-６．データのインポート

メニューのツールにあるデータのインポートを選択すると、フォルダ選択画面が表示されます。



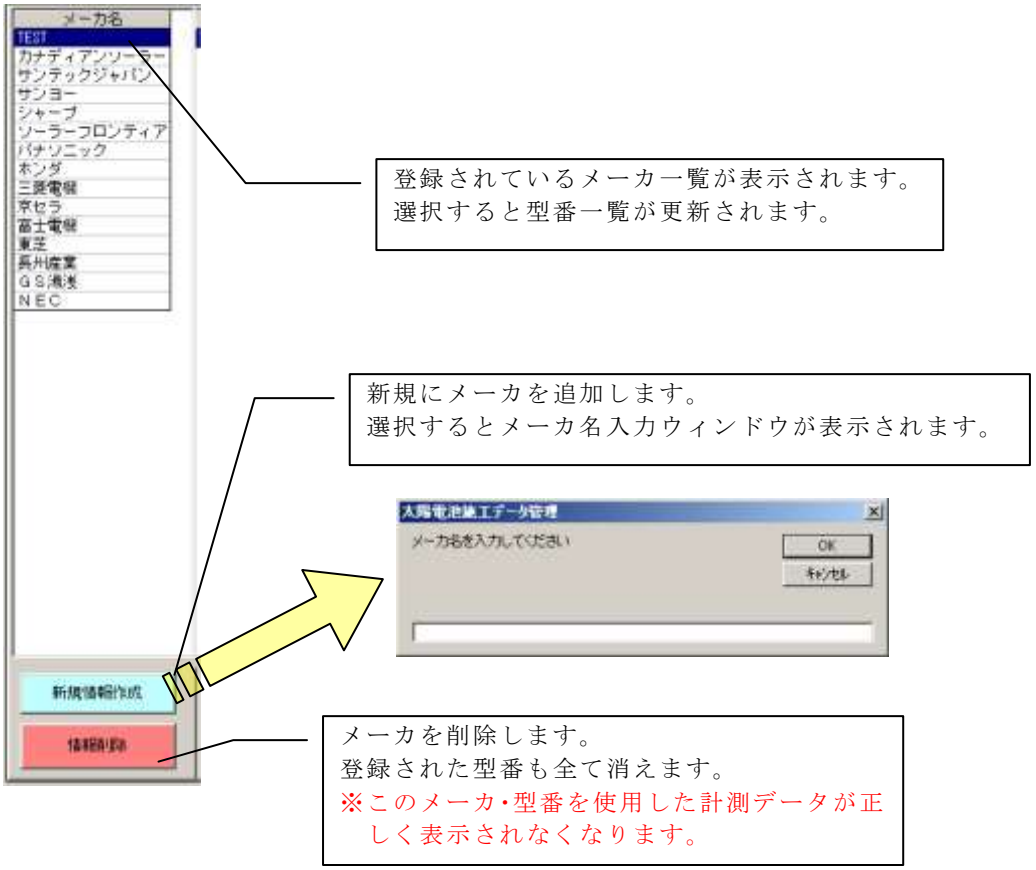
CD 内の Sample フォルダの MODULE_DATA を選択します。



フォルダを選択後、OK を選択します。

１８．パワコン基本情報

１８-１．メーカ名一覧



１８-２．型番一覧

登録されている型番一覧が表示されます。
選択すると詳細情報が表示されます。

新規にパワコンを追加します。
選択すると型番入力ウィンドウが表示されます。

選択された型番を削除します。
※この型番を使用した計測データが正しく表示されなくなります。

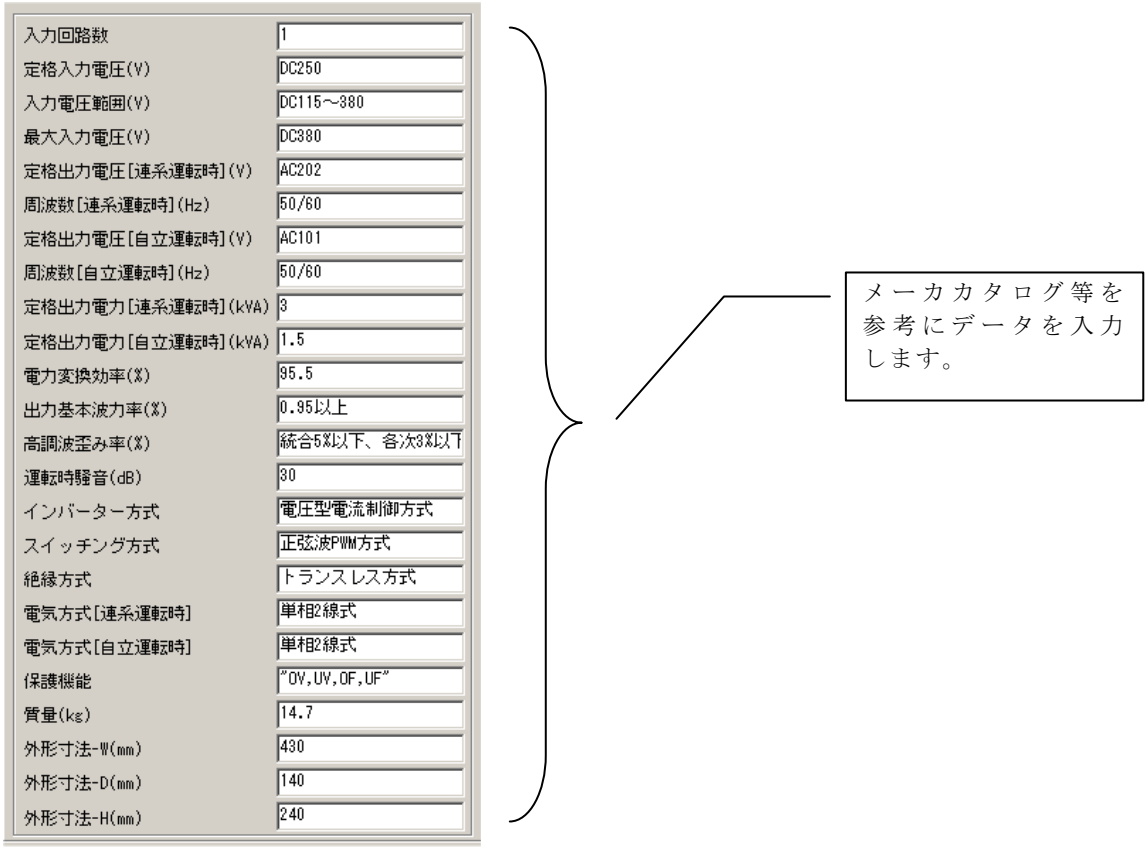
１８-３．製品写真

型番が選択されると登録されていた画像が表示されます。
表示エリアより大きい画像の場合は縦もしくは横サイズに合わせて縮小表示されます。
表示エリアより小さいサイズは拡大されて表示されます。
画像をダブルクリックするとWindowsで拡張子に登録されたソフトウェアで表示されます。

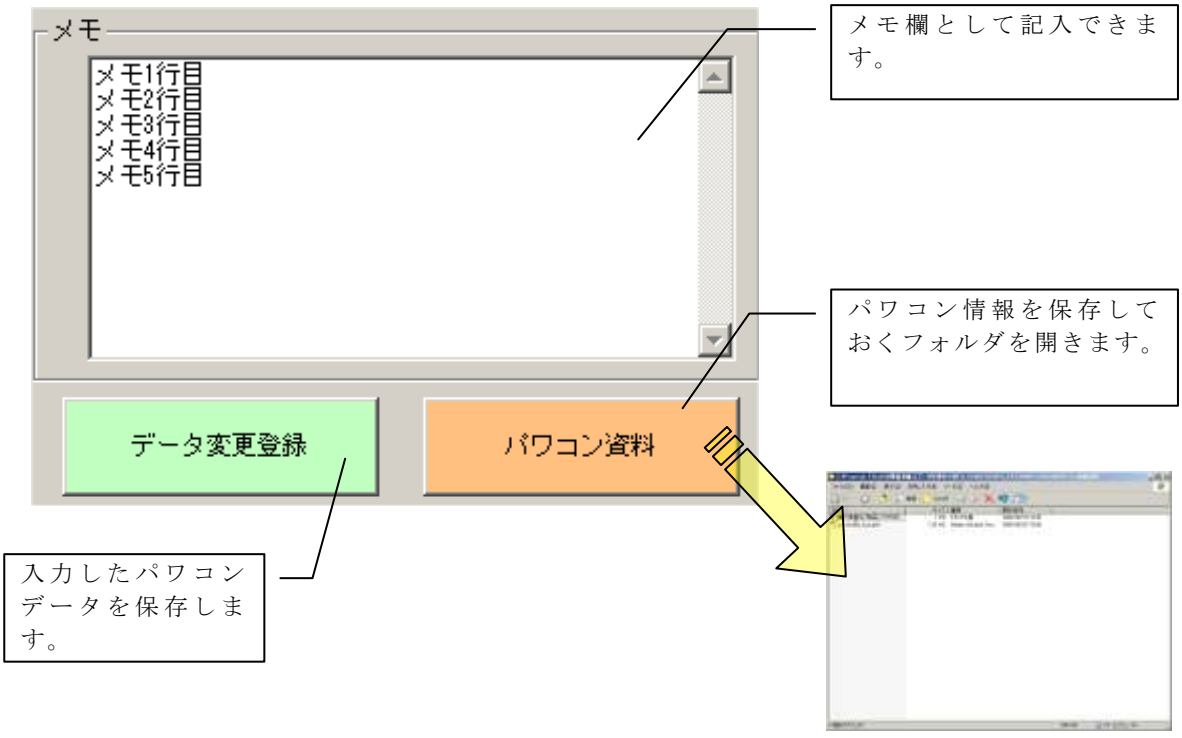
画像の登録/変更が行えます。
※ファイル選択ウィンドウでキャンセルを選択すると登録した画像を削除するかを問うウィンドウが表示されます。

画像が表示されている時に画像エリア上で右クリックすると画像削除メニューが表示されますので、削除したい場合は画像削除を選択してください。

１８-４．パワコンデータ

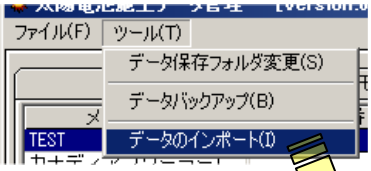


１８-５．メモ

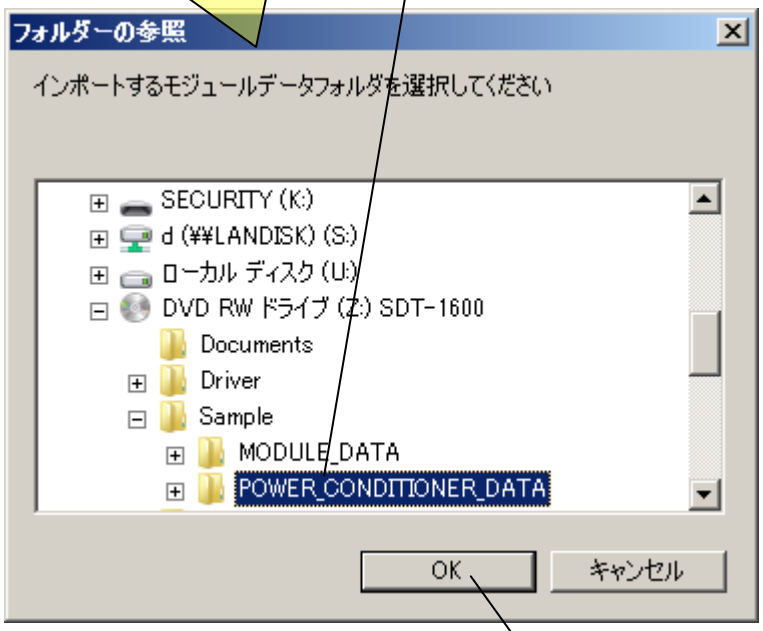


１８-６．データのインポート

メニューのツールにあるデータのインポートを選択すると、フォルダ選択画面が表示されます。



CD 内の Sample フォルダの
POWER_CONDITIONER_DATA を選択します。



フォルダを選択後、OK を選択
します。

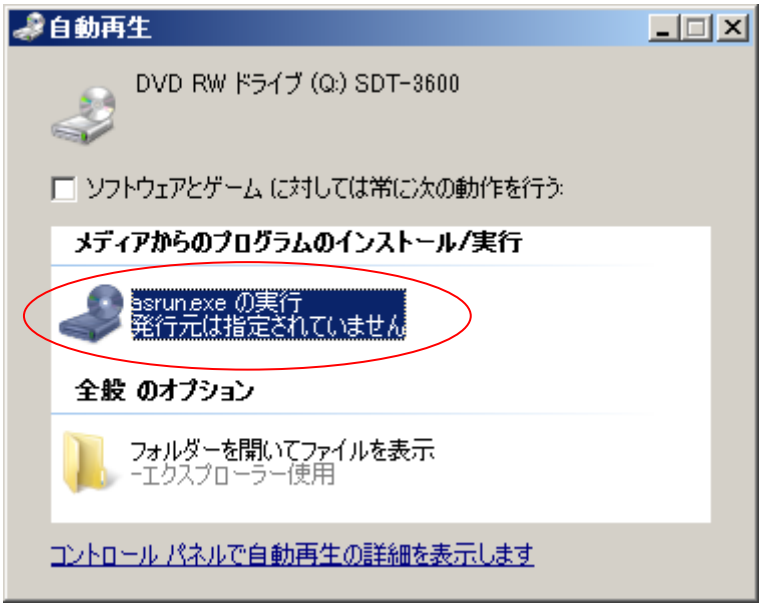
１９．ソフトウェアのセットアップ

※パソコンに測定器を接続する前にソフトウェアのセットアップを行います。

１９-１．セットアップ方法

画面はクラッシックモードの場合です。OS の設定により若干の違いがあります。

１）CD-ROM をドライブに挿入すると、以下のウィンドウが表示されますので「asrun.exe の実行」を選択してください。

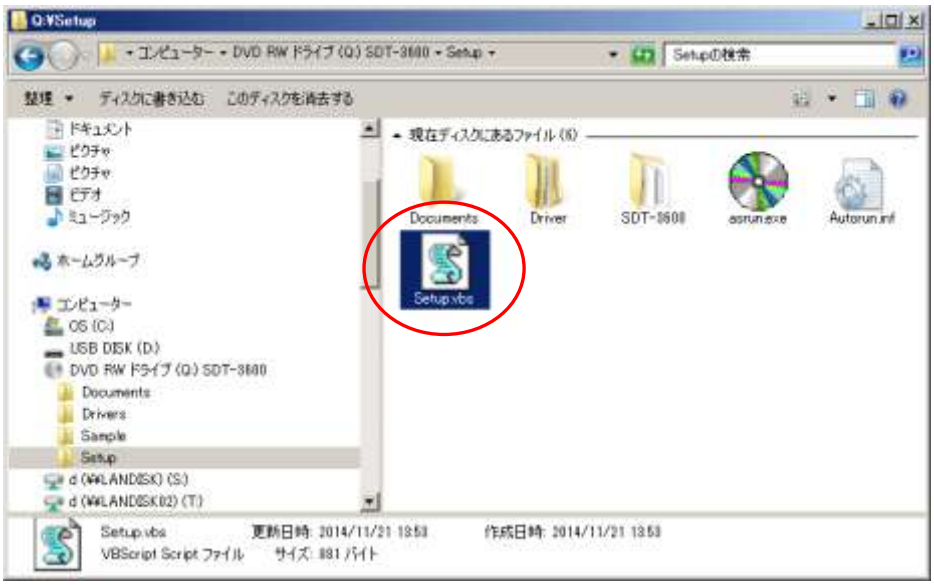


２）以下のウィンドウが表示されますので「OK」を選択します。

※Windows の設定により自動再生が停止されていた場合は CD-ROM をドライブにセット後、左下のスタートボタン→コンピューターをエクスプローラのコンピューターを選択してください。

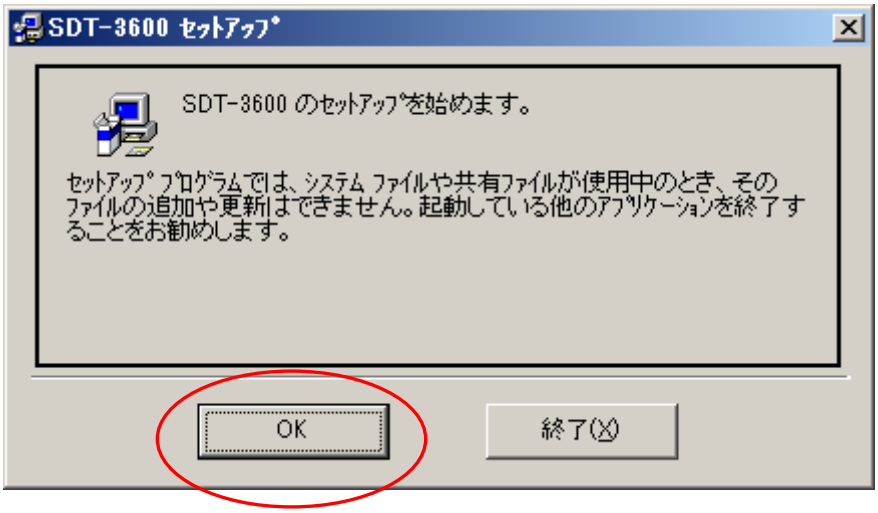
CD/DVD ドライブを選択します。

Setup.vbs を起動します。

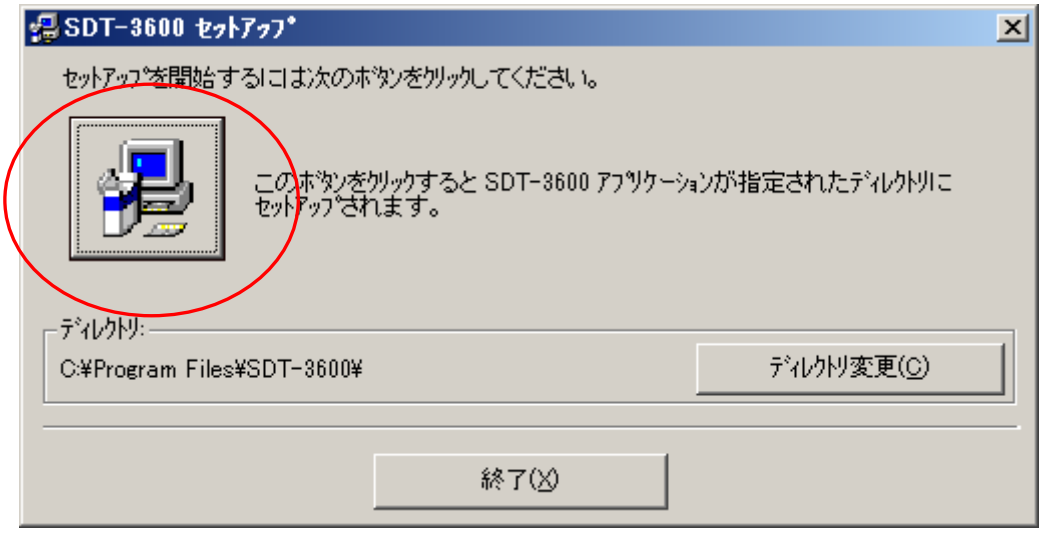


以下のウィンドウが表示されますので「OK」を選択します。

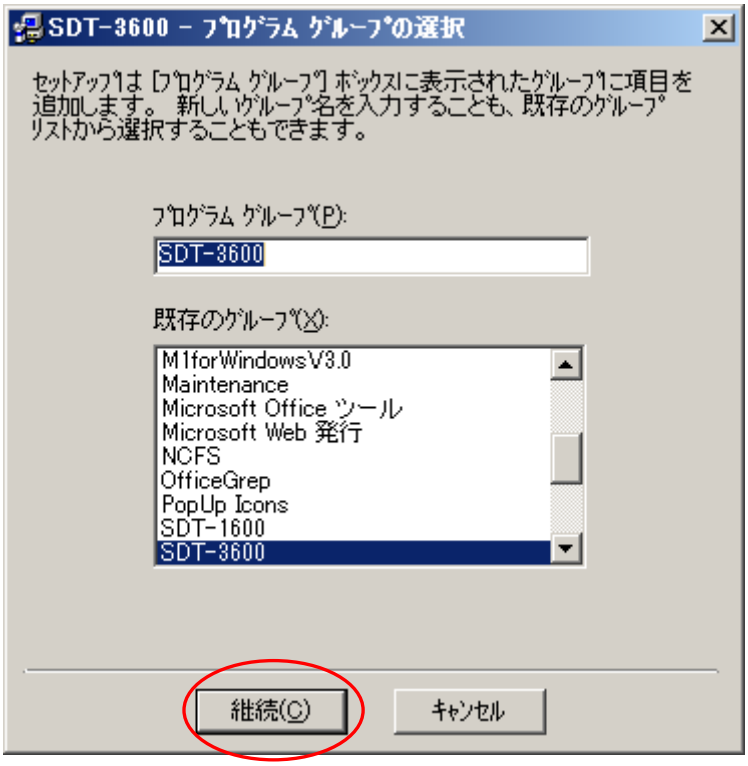
3）暫くすると太陽電池施工データ管理ソフトセットアップ画面が表示されるので「OK」を選択します。



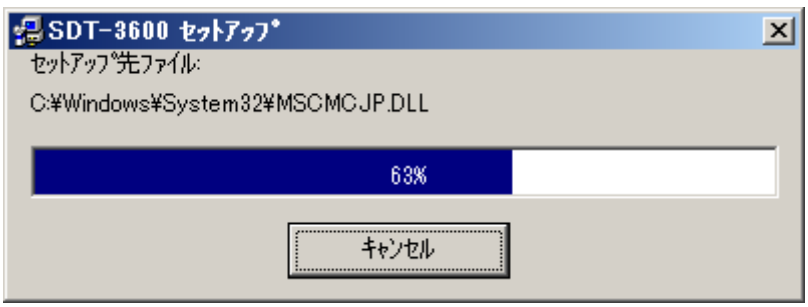
4）セットアップ開始確認画面が表示されるので開始ボタンを押します。



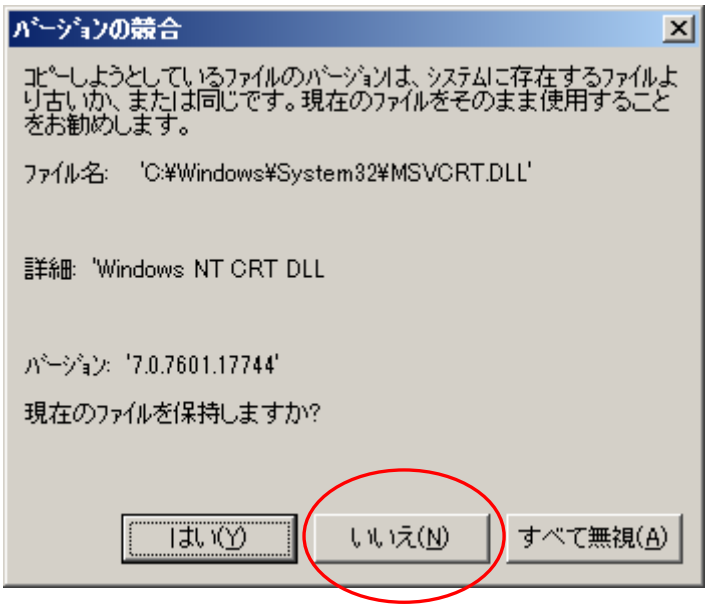
5）プログラムグループ選択画面が表示されますので「継続」を選択します。



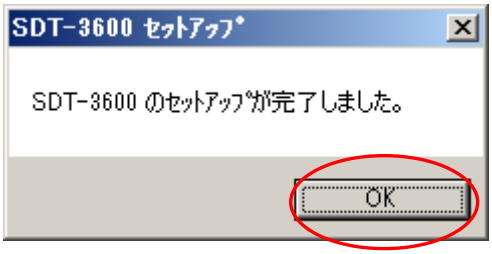
6）必要なファイルのコピーが開始されます。



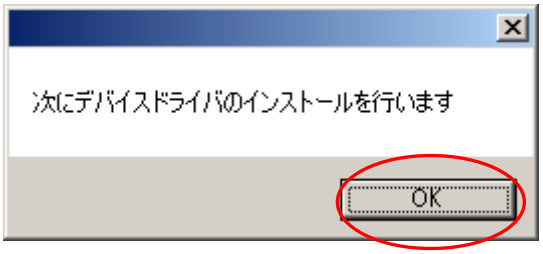
※途中にバージョンの確認画面が出る場合があります。
下記の画面が出ましたら「いいえ」を選択します。



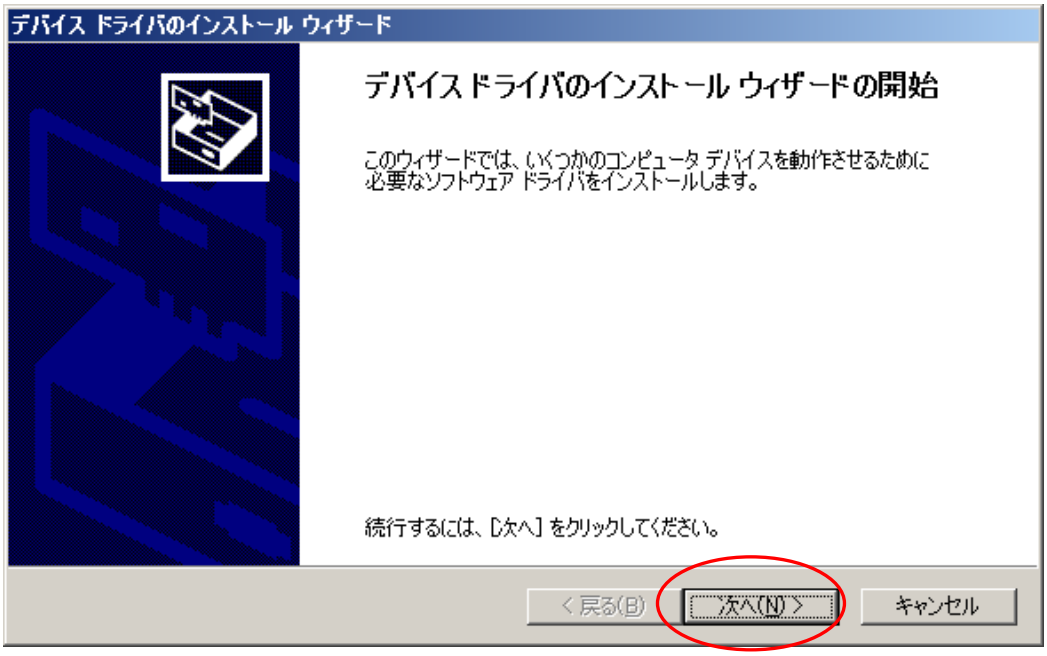
7）セットアップが完了したら「OK」を押します。



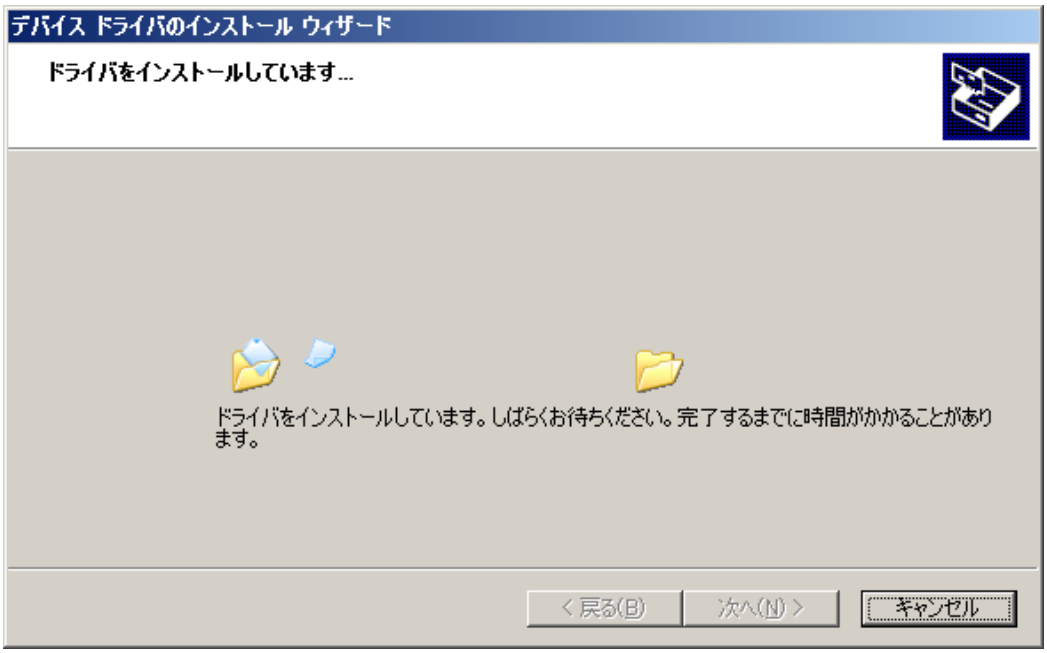
8）以下のウィンドウが表示されますので「OK」を選択します。



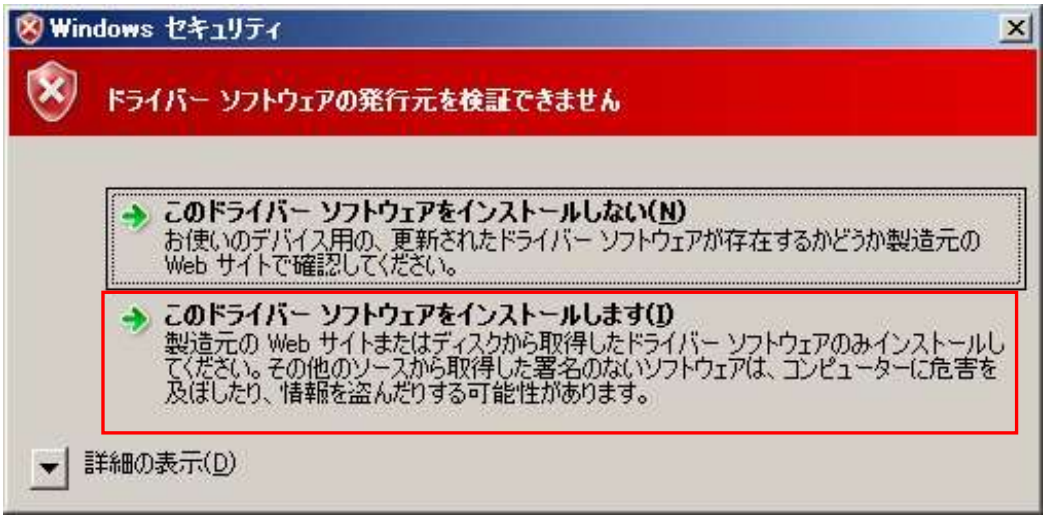
９）以下のウィンドウが表示されますので「次へ」を選択します。



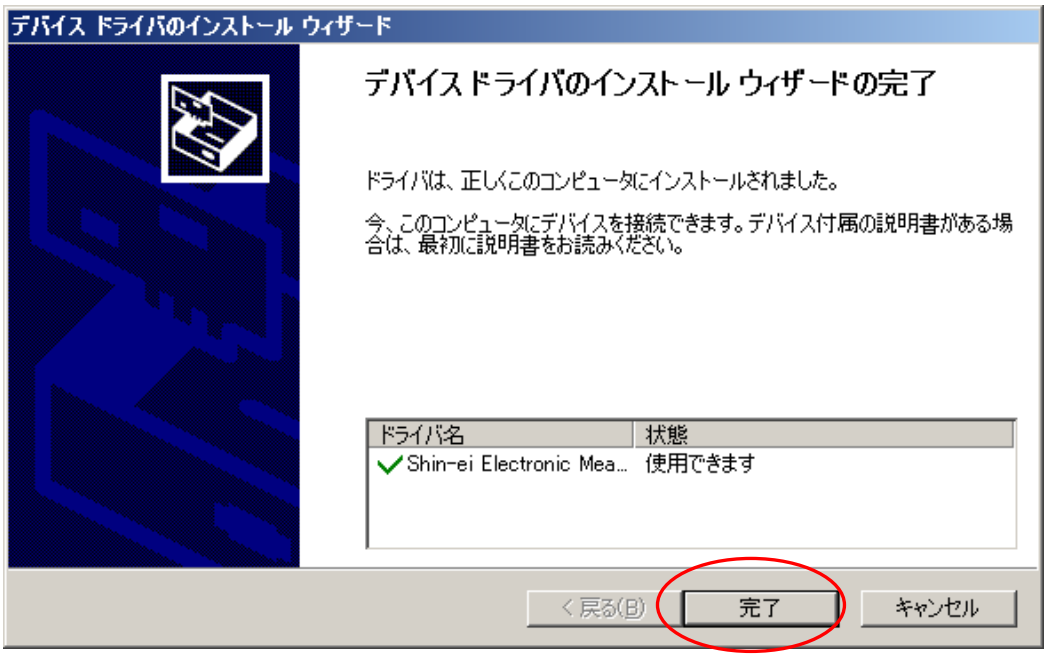
１０）デバイスドライバのインストールが開始されます。



１１）Windows のセキュリティが表示されましたら、下側の「このドライバーソフトウェアをインストールします(I)」を選択します。



１２）以下のウィンドウが表示されますので「完了」を選択します。

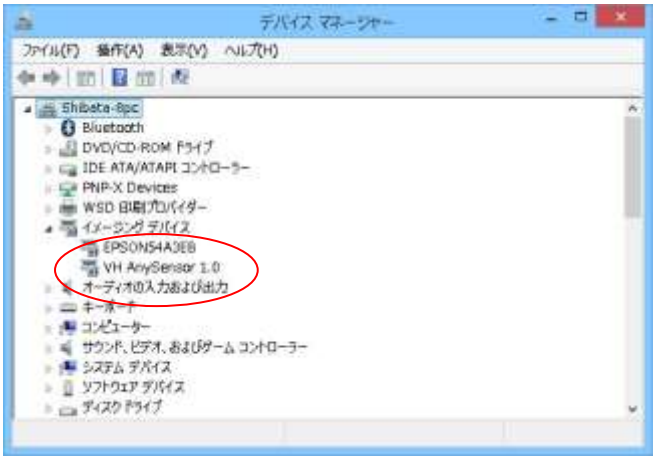


１３）以下のウィンドウが表示されますので「OK」を選択します。
以上でセットアップは終了です。CD-ROM をドライブから取り出して保管してください。

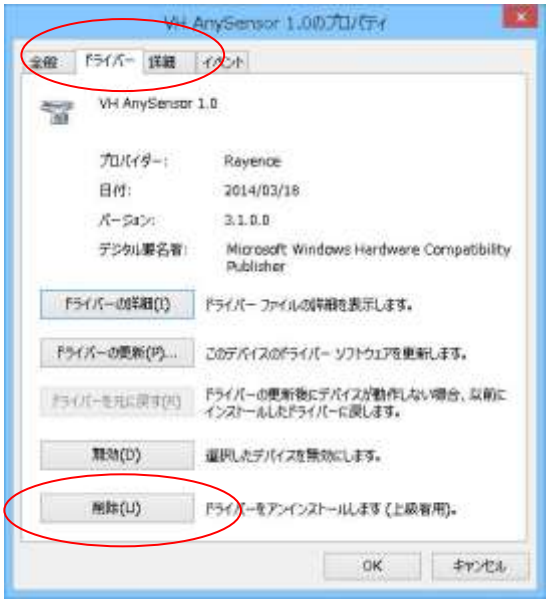
１９-２．データ転送が正しく行われないとき

この管理ソフトウェアをインストール前にＵＳＢを接続すると、データ転送が正しく行われない場合がありまます。その時は、下記の手順で再セットアップをお願いいたします。

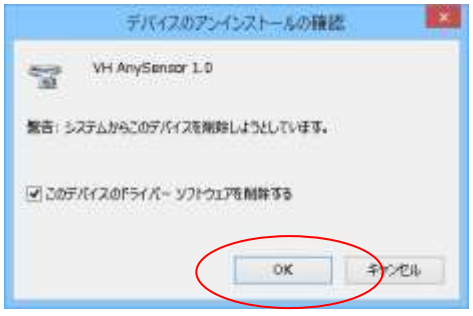
１）ＰＣにＵＳＢケーブルを接続し、本体の電源を入れます。
２）デバイスマネージャーを開きます。
３）「イメージングデバイス」内、「VH AnySensor 1.0」をダブルクリックします。



４）「ドライバー」タブを選択し、「削除」をクリックします。



５）「このデバイスのドライバーソフトウェアを削除する」にチェックを入れて「ＯＫ」をクリックします。



６）ＵＳＢケーブルをＰＣから抜きます。
７）添付の取扱説明書に従い、ＰＣ用ソフトをインストールします。

２０．このソフトウェアについて

２０-１．ディレクトリ構造について

本プログラムのディレクトリ構造について説明します。

【Windows Vista】

C:¥Program Files¥SDT-3600¥	インストールディレクトリです。
SDT-3600.exe	実行ファイルです。
¥LANGAGE	ランゲージ用データです。（日本語、英語）
C:¥SOLAR_DATA¥SDT-1600	
¥BACKUP_DATA	プログラムが使用する領域です。
¥FORWARD_DATA	SIV-600Z/1000Z・IVH-400Z/500Z/1000Z/2000Z 等から転送したデータの一時保存領域です。
¥MODULE_DATA	モジュール用保存データです。
¥POWER_CONDITIONER_DATA	パワコン用保存データです。
¥USER_DATA	顧客管理保存データです。

バックアップなどを取る際には、設定した保存フォルダごと保存を行ってください。

【Windows 7】

C:¥Program Files¥SDT-3600¥	インストールディレクトリです。
SDT-3600.exe	実行ファイルです。
¥LANGAGE	言語データです。（日本語、英語）
C:¥SOLAR_DATA¥SDT-1600	
¥BACKUP_DATA	プログラムが使用する領域です。
¥FORWARD_DATA	SIV-600Z/1000Z・IVH-400Z/500Z/1000Z/2000Z 等から転送したデータの一時保存領域です。
¥MODULE_DATA	モジュール用保存データです。
¥POWER_CONDITIONER_DATA	パワコン用保存データです。
¥USER_DATA	顧客管理保存データです。

バックアップなどを取る際には、設定した保存フォルダごと保存を行ってください。

SHIN.EI

新栄電子計測器株式会社

http://www.shin-ei.ne.jp

〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤 2636

TEL　0466-88-3030

FAX　0466-87-0627